

携帯型デジタル簡易無線機 IC-DPR45

この無線機をご使用の際には、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。
必ず登録申請をして、登録状が手元に届いてからご使用ください。
無線局の登録申請手続きをしないで運用されますと、不法無線局となり1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた登録局対応の携帯型デジタル簡易無線機です。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

取扱説明書の構成

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「簡易取扱説明書」(冊子)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

簡易取扱説明書(冊子)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(本書)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

- ◎通話のしかた(応用編) ◎そのほかの機能について
- ◎別売品について ◎定格

登録商標/著作権

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

ユーザー登録

インターネットから、<https://www.icom.co.jp/>にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート→法人のお客様(または、個人のお客様)→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力してください。

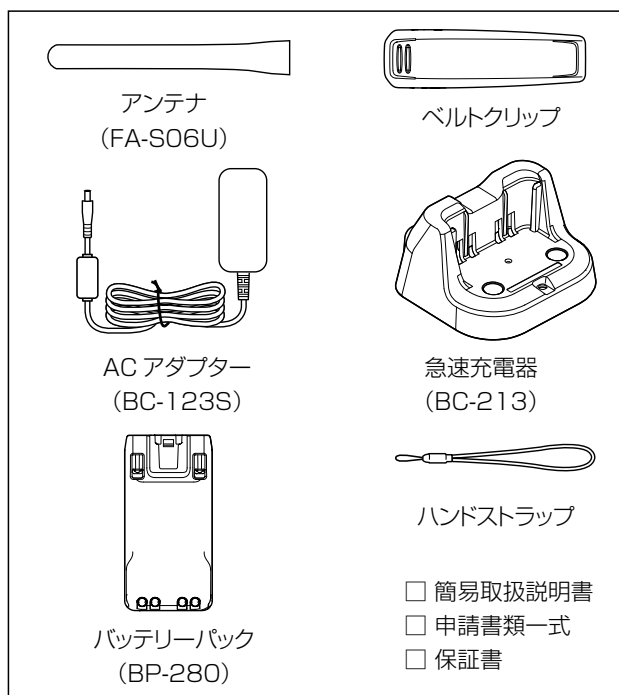
本製品の特長

- ◎IP67(P.iv)の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーパック、アンテナ、保護カバー装着時に限る)
- ◎デジタル無線機の特長として、高音質で通話ができます。
- ◎サブチャンネルPTT機能(P.3-4)搭載により、最大3チャンネル間で送受信ができます。
- ◎チャンネル番号音声案内機能を使用すると、通話チャンネルを切り替えたとき、選択したチャンネル番号を音声で読み上げます。
- ◎Bluetoothヘッドセットにより、VS-3(別売品)などのBluetoothヘッドセットを使用できます。
- ◎ポケットビーブメロディー機能を使用すると、ビーブ音の代わりとして、メロディーでお知らせできます。
- ◎あらかじめ設定した複数のチャンネルを巡回受信できるメモリーチャンネルスキャン機能を装備しています。
- ◎個別呼び出し機能を使用しない場合、種別コード「3R」、「3T」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換★があります。
- ◎イコライザー機能を使用すると、好みの音質にできます。

★ AMBE+2™方式を採用している機種に対応しています。

はじめに

付属品



使用後はリサイクルへ



この製品は、充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持する
ために、不要になった電池は廃棄せず、
端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リ

サイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。

JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

チャンネル

◎陸上・海上用チャンネル：CH01～CH14、
CH16～CH82

◎呼出用チャンネル：CALL CH(CH15)^{★1}

◎上空用チャンネル：CH S01～CH S15^{★2}

★1 一時的な呼び出しをするときに使用します。〔「簡易取扱説明書」P.8〕

多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いている陸上・海上用チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。

※通話相手のデジタル簡易無線機によっては、呼出CHを選択する相手と通話できます。

★2 上空用チャンネルでは送信できません。

出荷時、上空用チャンネルの使用は、「OFF」(P.4-10)に設定されています。

音声圧縮(符号化)方式

本製品は、米国DVI社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,359,197 and #7,970,606.

運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。

◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に停車させてください。

◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で運転しないでください。

一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。

◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。

※バッテリーパック、アンテナ、保護カバーを無線機に正しく取り付けられた状態で洗浄してください。

※常温の真水でやさしく洗い流してください。

※ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意

次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。

- 無線機本体、保護カバーが破損している場合
- 落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

はじめに

電磁ノイズ

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電気製品、および電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

【インバーター回路内蔵のおもな電子機器】

- ◎LED照明器具 ◎電磁調理器
- ◎給湯器 ◎太陽光発電装置
- ◎自動車に搭載された電子機器

取り扱い上のご注意

- ◎アンテナを持って製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
- ◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎雨の中や、水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーパックや防水形スピーカーマイクロホン、アンテナを付けたり、はずしたりしないでください。
- ◎水や湯を水道の蛇口から直接当てないでください。
- ◎無線機本体やバッテリーパックと充電器の各端子(充電端子および電源ジャック)、アルカリ乾電池ケースの電池端子にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがあります。
乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してください。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波法上のご注意

- ◎無線局の運用に当たっては、電波利用料を納付する必要があります。(納入告知書により、納付期限内に納付)
- ◎登録局の有効期間は、登録日から数えて5年間です。
再登録の申請は、有効期間満了の3ヵ月前から1ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- ◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。
同梱の「アンテナについて」を参考にしてください。
技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
- ◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎本製品は、日本国内における陸上、および日本周辺海域で運用する無線機です。
CH01～CH14、CALL CH(CH15)、CH16～CH82は上空での運用はできませんのでご注意ください。
上空で受信する場合は、CH S01～CH S15を使用してください。
無線局登録状の範囲を超えた運用は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなります。

はじめに

防塵/防水性能

バッテリーパックとアンテナ、保護カバーを正しく取り付けた状態で、IP67の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でバッテリーパックやアンテナ、保護カバーを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水压をかけたとき
- -20°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーパック、アンテナ、別売品を接続するコネクタ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能

防水形スピーカーマイクロホン(HM-168LWP)を使用したときは、IP67の防塵/防水性能があります。

※ 上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。

※ 別売品(5章)は、防塵/防水性能をご確認のうえ、ご使用ください。

IP表記

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

IP6X(耐塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機の内部に粉塵の浸入がないこと

IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

IPX7(防浸形) : 水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

はじめに

電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯のBluetoothで通信するときは、次のことに
らに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科
学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されて
いる移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線
局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線
局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)
が運用されています。

◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内
無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無
線局が運用されていないことをご確認ください。

◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対し
て有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場
所を変更するか、Bluetoothのご使用をお控えくだ
さい。

◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線
局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干
渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起
きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00～17:00)

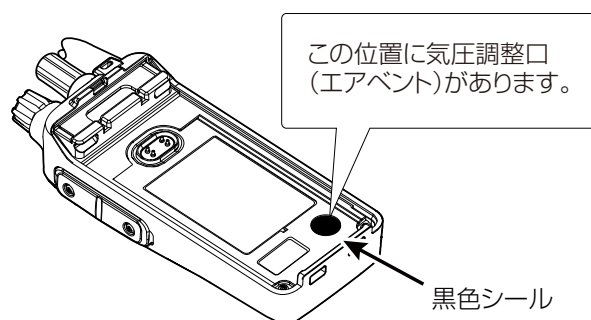
気圧調整口(エアベント)

下図の位置に気圧調整口(エアベント)があり、この下
にある空気を通す素材のシートによって、気圧を調整して
います。

※ほかのシールを貼るなどしてふさぐと、気圧調整が
できなくなり、運用してしばらくすると、内蔵スピー
カーからの音量が小さくなる現象が発生することが
あります。

また、防水性能が維持できなくなる場合があります。

※ 黒色シールに傷がつくと、防水性能が維持できなくな
る場合があります。



2.4GHz現品表示記号の意味

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備

「FH」：FHSS方式

2.4FH1

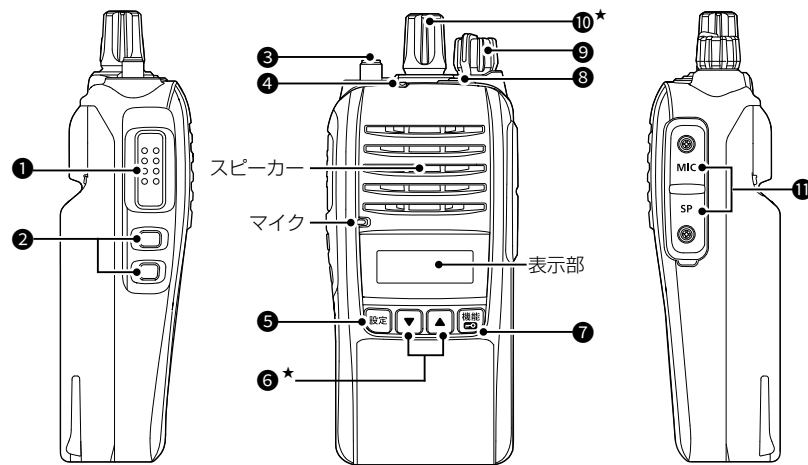
「1」：想定干渉距離が10m以下

「---」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線
局および特定小電力無線局並びにアマチュア無
線局の帯域を回避不可

もくじ

はじめに	i	5. 別売品について	5-1
取扱説明書の構成	i	■ 別売品一覧表	5-1
登録商標/著作権	i	■ バッテリーパック使用時の運用時間と充電時間	5-2
ユーザー登録	i	■ 保護カバーの取り付けと取りはずし	5-3
本製品の特長	i	■ HM-168LWP	5-3
付属品	ii	■ HM-238LWP(サブチャンネルPTT機能対応 タイピン型マイクロホン)	5-4
チャンネル	ii	■ BC-266	5-5
音声圧縮(符号化)方式	ii	■ BP-312(アルカリ乾電池ケース)	5-6
運転時のご注意	ii	■ 外部電源の接続	5-7
海水が付着したときは?	ii	6. 定格	6-1
電磁ノイズ	iii	■ 無線機本体	6-1
取り扱い上のご注意	iii	■ BC-213 急速充電器	6-1
電波法上のご注意	iii	■ BC-266 急速充電器(別売品)	6-2
防塵/防水性能	iv		
別売品の使用による防塵/防水性能	iv		
IP表記	iv		
電波干渉についてのご注意	v		
2.4GHz現品表示記号の意味	v		
気圧調整口(エアベント)	v		
1. 各部の名称と機能	1-1		
■ 前面部/側面部	1-1		
■ ディスプレイ	1-2		
2. 通話のしかた(応用編)	2-1		
■ 呼び出しかたの種類について	2-1		
■ 個別呼び出し機能を設定するには	2-2		
■ 個別呼び出し機能で通話するには	2-4		
■ ユーザーコードを使用して通話するには	2-7		
■ 秘話機能を使用して通話するには	2-9		
3. そのほかの機能について	3-1		
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	3-1		
■ ローンワーカー機能	3-3		
■ サブチャンネルPTT機能	3-4		
■ プライベートチャンネル機能	3-9		
■ プライベートチャンネルスキャン機能	3-10		
■ メモリーチャンネルスキャン機能	3-11		
■ モニター機能	3-12		
■ ポケットビープ機能	3-12		
■ ポケットビープメロディー機能	3-12		
■ 着信履歴機能	3-13		
4. 各種機能の設定	4-1		
■ 設定項目一覧	4-1		
■ 設定モードに移行するには	4-3		
■ 設定のしかた	4-3		
■ 設定項目について	4-4		

■ 前面部/側面部



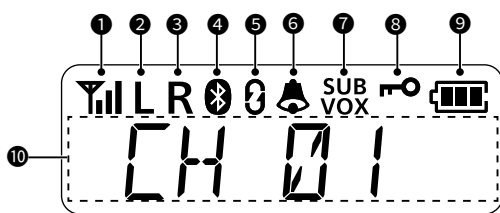
★ [CH切替]と[▼]、[▲]は同じ動作をします。
本書では[▼]、[▲]を使用して説明しています。

①	[PTT]	
	押しているあいだは送信状態、はなすと受信状態	
②	[サイド1](上)/[サイド2](下)	
	サブチャンネルPTT機能など設定モードで割り当てた機能を操作、またはサブチャンネルのPTTスイッチとして使用できます。(P.3-4)	
③	アンテナコネクター	
④	状態表示ランプ	
	送信時は赤色、受信中は緑色に点灯	
⑤	[設定]	
	短押し	設定項目の選択
	長押し	送信出力の切り替え
⑥	[▼]、[▲]	
	チャンネル、設定内容などの選択	
⑦	[機能/⏻]	
	短押し	設定項目の選択、機能の切り替え(ユーザーコード、秘話、個別呼び出し)
	長押し	ロック機能の「ON」/「OFF」

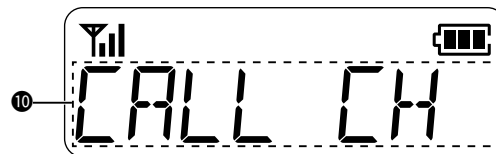
⑧	[緊急呼び出し]	
	短押し	プライベートチャンネル(P.3-9)
	長押し	緊急呼び出しモード(P.3-1)
⑨	電源/音量ツマミ	
	電源の「ON」/「OFF」、音量の調整	
⑩	CH切り替えツマミ	
	[▼]/[▲]と同じ動作	
⑪	[MIC/SP]ジャック	
	別売品のスピーカーマイクロホンなどを接続するジャック	
	※プラグを抜き差しするときは、必ず本製品の電源を切ってください。	
	※防塵/防水性能を維持するため、使用しないときは保護カバーを正しく閉じてください。	
	※保護カバーは、ネジ(M2×6)で固定されています。	

1 各部の名称と機能

■ ディスプレイ



(CH 01 : チャンネル 01 表示)



(CALL CH : 呼び出しチャンネル)

- ① 受信電波の強さ(4段階)を表示

無★ 弱 中 強

★待受状態、または受信した電波の強さが著しく弱いときに表示されます。

- ② L 送信出力が1Wに設定されているとき

- ③ R 送信禁止が設定されているとき(P.ii)

- ④ Bluetooth機能が「ON」のとき

- ⑤ 秘話機能が「ON」のとき(P.2-9)

- ⑥ 点滅：通話相手から個別呼び出し、またはポケットビープ機能が「OFF」以外で、ユーザーコードによる呼び出しを受けたとき(P.3-12)

点灯：ポケットビープ機能が「OFF」以外で個別呼び出し機能、またはユーザーコード機能が「ON」のとき(P.3-12)

- ⑦ SUB 点灯：サブチャンネルPTT機能が設定されているとき(P.3-4)

VOX 点灯：VOX機能が「OFF」以外するとき

- ⑧ ロック機能が「ON」のとき

- ⑨ 電池残量の目安(4段階)を表示

- ⑩ 音量、通話チャンネル、ユーザーコード、秘話キー、設定モードなどを表示

相手と同じ通話チャンネルに合わせると、通話できます。

ご利用になるエリアや目的に応じて、ユーザーコード、秘話機能、個別呼び出しなどもご使用ください。

なお、個別呼び出し機能の設定によって、操作が異なります。

個別呼び出し機能：「OFF」(初期設定)

相手と同じ通話チャンネルに合わせてから、送信します。

※全局/個別/グループ番号の選択はできません。

個別呼び出し機能：「ON」

1. 相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

2. 呼び出す相手(全局/個別/グループ番号)を選択後、送信します。

■ 呼び出しのかたの種類について

呼び出しのかたには、次の3種類の方法があります。

◎全局呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じ相手局(使用例：Bさん/Cさん/Dさん)を一斉に呼び出します。

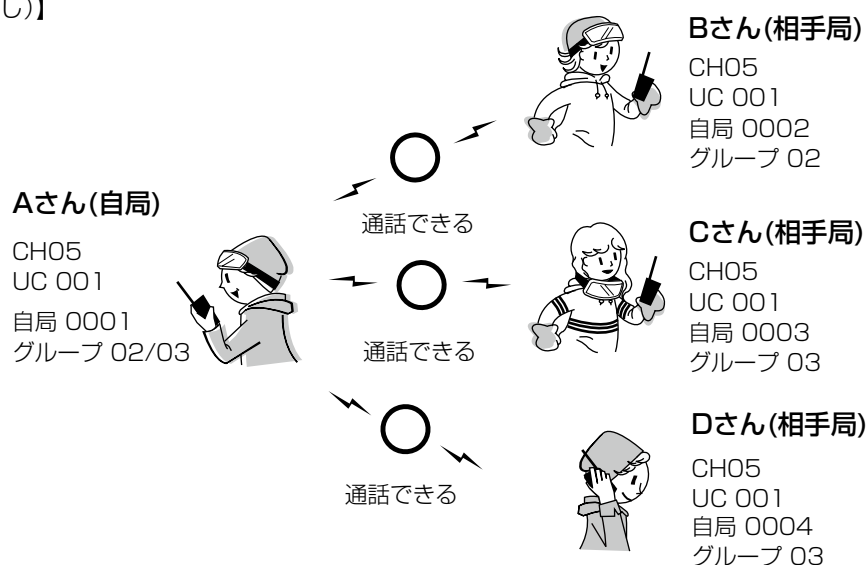
◎個別呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じで、呼び出す相手局(使用例：Bさん)の自局番号(使用例：0002)を指定して呼び出します。

◎グループ呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じで、メンバー指定(P.4-7)されたグループ番号(使用例：グループ 03)に所属するすべての相手(使用例：Cさん/Dさん)を呼び出します。

【使用例(全局呼び出し)】



【「CALL CH」表示での機能制限について】

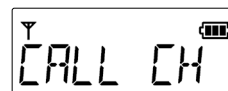
工場出荷時や全設定初期化時、電源を入ると、呼出用チャンネルの「CALL CH」*が表示されます。このチャンネルは一時的な呼び出しにだけ使用します。

呼び出した相手と通話をつづける場合は、空いている通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH82)に変更してから通話してください。

※ 電源を入れなおすと、前回選択した通話チャンネルが表示されます。

※ ユーザーコード、秘話機能、個別呼び出し機能による通話には使用できません。

★ 本製品以外では、「呼出CH」や「CH15」と表示されるチャンネルです。



呼出用チャンネル

2 通話のしかた(応用編)

■ 個別呼び出し機能を設定するには

通話に使用するすべての無線機で設定が必要です。

1 設定モードにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/]を押しながら、電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「MODE CHG」が表示されます。

2. [機能/]から手をはなしたら、「MODE CHG」が表示されているあいだに、再度、[機能/]を短く押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「SET MODE」が表示されたあと、設定項目が表示されていれば、設定モードに移行しています。

※「MODE CHG」が表示されなかったときは、手順1から操作をやり直してください。

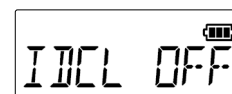


2 「IDCL ON」を選択する

1. [機能/]を押して、「IDCL OFF」(初期設定)を選択します。(P.4-6)
2. [▼]を押すと「IDCL OFF」、[▲]を押すと「IDCL ON」を選択できます。

※個別呼び出し機能で使用するすべての無線機に設定してください。

手順3以降の設定は、2-1ページの例(設定値)を使用して説明しています。

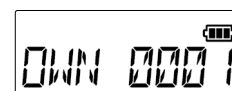


個別呼び出し機能OFF

3 自局番号を設定する

自局番号とは、自分が個別呼び出しを受けるための番号です。

1. [機能/]を押して、「OWN 0001」(初期設定)を選択します。(P.4-6)
2. [▼]、[▲]を押して、自局番号を設定します。



自局番号表示
(表示例：0001)

【設定例】

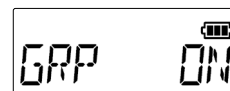
個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。

Aさん(自局)：0001 Bさん(相手局)：0002 Cさん(相手局)：0003 Dさん(相手局)：0004

2 通話のしかた(応用編)

■ 個別呼び出し機能を設定するには

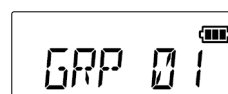
4 「GRP ON」を選択する

1. [機能/ 

グループ番号表示ON

5 グループ呼び出しのメンバーを指定する

メンバーとして所属するグループの番号を指定します。

1. [機能/ 

グループ番号表示



グループ02にメンバー指定している表示



【メンバー指定するグループ番号の例】

グループ呼び出しで使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に所属するグループの番号を指定してください。

Aさん(自局) : グループ02/グループ03

Bさん(相手局) : グループ02

Cさん(相手局) : グループ03

Dさん(相手局) : グループ03

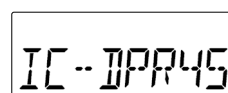
6 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

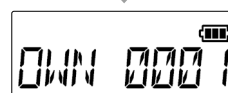
- ・設定モードが解除され、設定した自局番号の表示後、通話チャンネルが表示されます。

※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。

※設定モードを解除するまで通話できません。



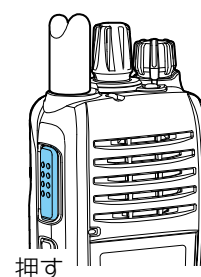
再起動直後



自局番号表示



通話チャンネル表示



2 通話のしかた(応用編)

■ 個別呼び出し機能で通話するには

相手局番号(相手の自局番号)やグループ番号を指定して相手局と通話する方法です。

※ 個別呼び出し機能がすべての無線機に設定されているものとして説明しています。(P.2-2)

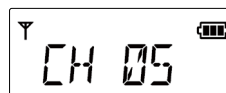
1 通話チャンネルを合わせる

[▼]、[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

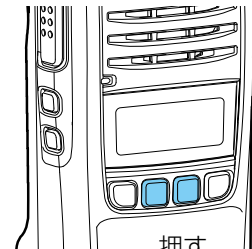
※設定できる範囲は、「01～14」、「16～82」です。

※[▼]、[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。

一巡すると、「ピピッ」と鳴ります。



全局呼び出し表示
(例：CH05)

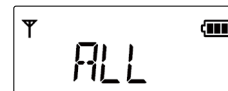


押す

全局呼び出し表示で送信すると

「ALL」が表示され、通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH82)、ユーザーコード、秘話機能の設定が同じすべての相手呼び出しできます。

あらかじめ、自局番号を通話相手に知らせるときなどに使用できます。



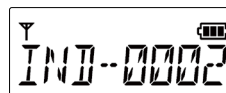
「ALL」(全局)表示

2 相手局番号を合わせる

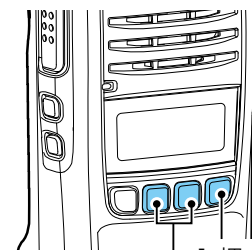
▶ 1局を呼び出すときは(個別呼び出し)

1. [機能/]を押して、「IND」(初期設定：0002)を選択します。

2. [▼]、[▲]を押して、相手の自局番号に合わせます。



相手局番号表示



1. 押す
2. 押す

編集できる桁を変更するには

1. [設定]を短く押します。

- 押すごとに編集できる桁が変わり、点滅します。

2. [▼]、[▲]を押して、相手局番号を選択します。

※[サイド2]を押すと、編集前の数字に戻ります。

3. 内容を確定するときは、[機能/]を短く押す、または[設定]を繰り返し短く押します。

- 桁の点滅が点灯に変わります。



点滅

[設定]を押したとき
(例：上位1桁目)

2 通話のしかた(応用編)

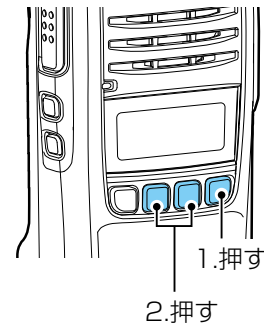
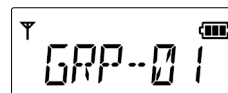
■ 個別呼び出し機能で通話するには

2 相手局番号を合わせる

▶ グループを呼び出すときは

1. [機能/]を押して、「GRP」(初期設定：01)を選択します。
2. [▲]、[▼]を押して、呼び出しをする相手のグループ番号(例：GRP 02)に合わせます。

※通話相手がグループ番号のメンバー指定をしていない場合、そのグループ番号で呼び出しをしても、こちらの音声は相手に聞こえません。
ただし、その相手から呼び出しを受けた場合、相手の音声はこちらに聞こえます。



メンバー指定あり



(例：CH05)

A



もしもし

B



メンバー指定なし



(例：CH05)

受信するが、Aの音声は出ない



(例：CH05)



もしもし



(例：CH05)

★ 呼び出しを受けた場合、相手局番号とグループ番号が交互に表示されます。(P.2-6)
呼び出しを受ける前の表示に戻る(終話する)までに[PTT]を押すと、応答できます。

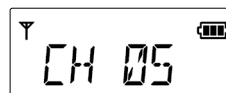
3 呼び出す

1. 呼び出す前に、呼び出したい相手の呼び出し種別・相手局番号またはグループ番号が表示されていることを確認します。

◎ 全局呼び出しをする場合

全局呼び出し表示

(例：CH05)

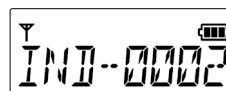


全局呼び出し表示

◎ 個別呼び出しをする場合

「IND」(相手局番号)表示

(例：IND-0002)

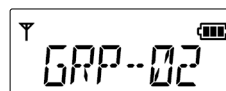


相手局番号表示

◎ グループ呼び出しをする場合

「GRP」(グループ番号)表示

(例：GRP-02)



グループ番号表示

2. [PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。

・ 状態表示ランプが赤色に点灯します。

※ 全局呼び出し表示で送信すると、「ALL」が表示されます。(P.2-4)

2 通話のしかた(応用編)

■ 個別呼び出し機能で通話するには

4 呼び出しを受ける

呼び出しを受けたときは、下図の表示状態で[PTT]を押すと、応答できます。

◎ 全局呼び出しを受けたとき

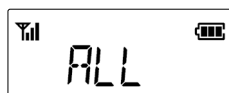
相手局番号とALLが交互に表示されます。



相手局番号表示



(交互に表示)



「ALL」(全局)表示

◎ 個別呼び出しを受けたとき

相手局番号と「」が点滅表示されます。

ポケットビープ機能やポケットビープメロディー機能が設定されているときは、設定されたビープ音やメロディー音が鳴ります。(P.3-12、P.4-4)



相手局番号表示(点滅)

◎ グループ呼び出しを受けたとき

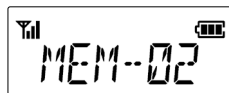
相手局番号とグループ番号を交互に点滅表示します。



相手局番号表示



(交互に表示)



グループ番号表示

2 通話のしかた(応用編)

■ ユーザーコードを使用して通話するには

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。

ほかの人の音声を聞こえなくして、特定の相手の音声だけを聞くときに使用します。

※通話チャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。

※秘話機能や個別呼び出し機能と併用できます。

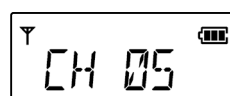
1 通話チャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

- 選択範囲：01～14、16～82、S01～S15*

※[▼]/[▲]を押しつづけると連続動作します。

★ 上空用チャンネル(CH S01～CH S15)では送信できません。



通話チャンネル表示
(CH05の場合)



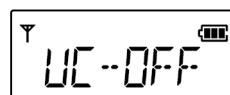
押す

2 UC(ユーザーコード)表示にする

[機能/⏻]を押して、「UC-OFF」(初期設定)表示を選択します。

- 押すごとに、「UC-OFF」→「SC-OFF」→通話チャンネルの順に切り替わります。

※何も操作していない状態で約10秒経過すると、通話チャンネル表示に戻ります。



ユーザーコード表示
(OFFの場合)

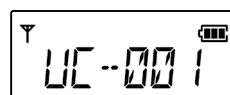


押す

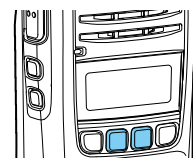
3 ユーザーコードを設定する

[▼]/[▲]を押して、通話する相手と同じユーザーコード(例：001)を設定します。

- 選択範囲：OFF(000)、001～511



ユーザーコード表示
(001の場合)



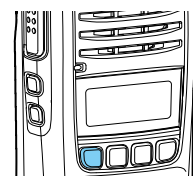
押す

【編集できる桁を変更するには】

1. [設定]を短く押します。
 - 押すごとに編集できる桁が変わり、点滅します。
 2. [▼]/[▲]を押して、ユーザーコードを選択します。
 - ※[サイド2]を押すと、編集前の数字に戻ります。
 3. 内容を確定するときは、[機能/⏻]を短く押す、または[設定]を繰り返し短く押します。
 - 桁の点滅が点灯に変わります。
- ※約10秒後、通話チャンネル表示に切り替わります。



短く1回押したとき
(例：上位1桁目)



押すごとに桁変更

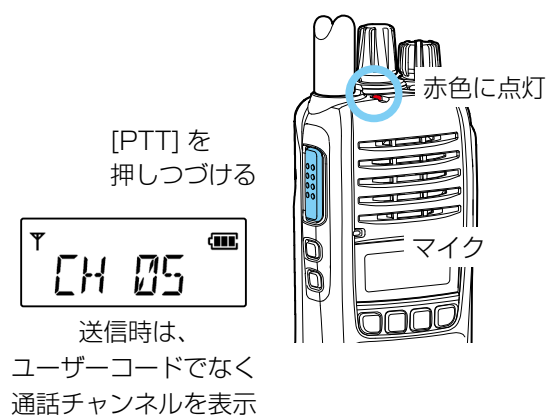
2 通話のしかた(応用編)

■ ユーザーコードを使用して通話するには

4 [PTT]を押しながら自分の声を送信する

[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、送信状態になり、状態表示ランプが赤色に点灯します。



5 [PTT]をはなして、相手の音声を受信する

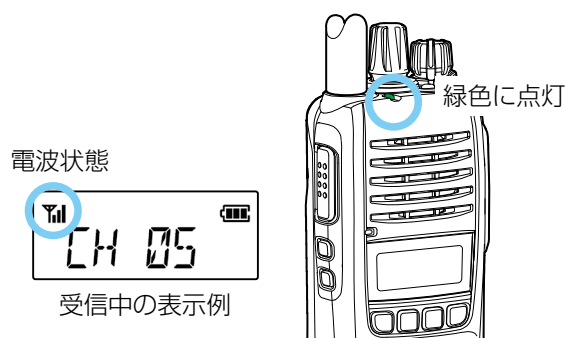
[PTT]をはなすと待ち受け状態になり、自分と同じ通話チャンネルとユーザーコードで通話する相手局の音声を受信できます。

受信中は、状態表示ランプが緑色に点灯し、受信している電波状態を表示します。

待ち受け状態のときは、状態表示ランプが消灯しています。

ご注意

ユーザーコードが異なる誰かの電波を受信しているときも、状態表示ランプが緑色に点灯し、電波状態を表示します。



2 通話のしかた(応用編)

■ 秘話機能を使用して通話するには

秘話機能を設定すると、通話内容が傍受されるのを防止できます。

特定の相手にだけ音声を送信するときに使用します。

※通話チャンネルと秘話キーが一致したすべての相手と通話できます。

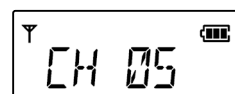
1 通話チャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

- 選択範囲：01～14、16～82、S01～S15*

※[▼]/[▲]を押しつづけると連続動作します。

★ 上空用チャンネル(CH S01～CH S15)では送信できません。



通話チャンネル表示
(CH05の場合)



押す

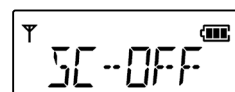
2 秘話表示にする

[機能/SC-OFF]を押して、「SC-OFF」(初期設定)表示を選択します。

- 押すごとに、「UC-OFF」→「SC-OFF」→通話チャンネルの順に切り替わります。

※何も操作していない状態が約10秒経過すると、通話チャンネル表示に戻ります。

※「SC-OFF」の場合、秘話機能を使用する他局の音声は聞こえません。



秘話機能表示
(OFFの場合)



押す

3 秘話機能をONにする

[▼]/[▲]を押して、「SC-ON」表示に切り替えます。

- 「0」が点灯します。

※「SC-ON」の場合、自分の音声は、秘話キーが異なる他局には聞こえ(傍受され)ません。



秘話機能表示
(ONの場合)



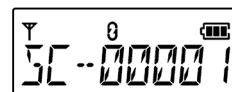
押す

2 通話のしかた(応用編)

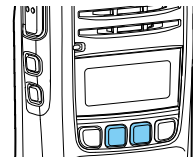
■ 秘話機能を使用して通話するには

4 秘話キーを設定する

1. [設定]を短く1回押します。
 - ・ 秘話キーを表示します。
2. [▼]/[▲]を押して、通話する相手と同じ秘話キー(5桁)を設定します。
 - ・ 選択範囲：00001～32767



秘話キー表示
(00001の場合)



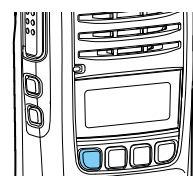
秘話キー選択

【編集できる桁を変更するには】

1. [設定]を短く押します。
 - ・ 押すごとに編集できる桁が変わり、点滅します。
 2. [▼]/[▲]を押して、秘話キーを選択します。
 - ※[サイド2]を押すと、編集前の数字に戻ります。
 3. 内容を確定するときは、[機能/PTT]を短く押す、または[設定]を繰り返し短く押します。
 - ・ 「SC-ON」が表示されます。
- ※約10秒後、通話チャンネル表示に切り替わります。



点滅
短く1回押したとき
(例：上位1桁目)



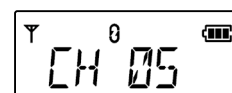
押すごとに桁変更

5 自分の音声を送信する

[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- ・ [PTT]を押しているあいだは、送信状態になり、状態表示ランプが赤色に点灯します。

[PTT]を
押しつづける



送信時は、
秘話キーでなく
通話チャンネルを表示



赤色に点灯

マイク

6 相手の音声を受信する

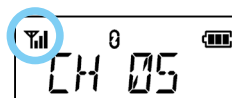
[PTT]をはなすと待ち受け状態になり、自分と同じ秘話キーの相手局の音声聞こえます。

また、秘話機能を使用しない他局が送信しても同様に相手局の音声聞こえます。

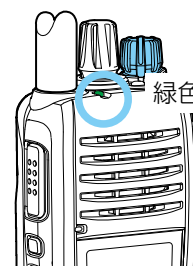
受信中は、状態表示ランプが緑色に点灯し、受信している電波状態を表示します。

待ち受け状態のときは、状態表示ランプが消灯しています。

電波状態



受信中の表示例



緑色に点灯

【受信中の表示例】

秘話キーが異なる誰かの電波を受信しているときも、状態表示ランプが緑色に点灯し、電波状態を表示します。

※他局が自分と異なる秘話キーを使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえます。

ご注意

機密性を要する重要な通話に本製品をご使用になることは、おすすめできません。

また、無線機間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

個別呼び出し機能による通話で、迅速な連絡が必要な場合、自分と同じ通話チャンネルで緊急呼び出し機能が設定された相手に、緊急表示と警告音で通知できます。

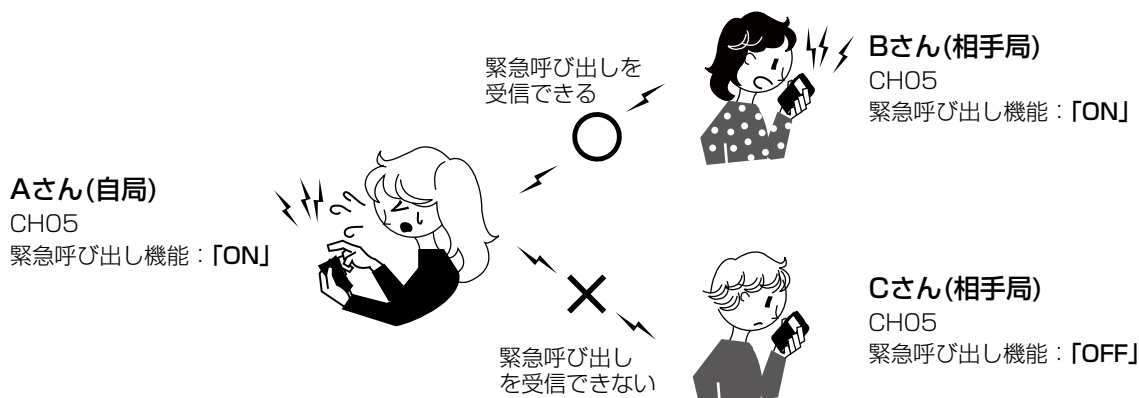
※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-8)

【緊急呼び出し機能を正しく使用するには】

あらかじめ、個別呼び出し機能(P.4-6)と緊急呼び出し機能の両方を送信側と受信側の無線機に設定してください。設定されていないときは、緊急呼び出しの受信、または応答ができません。

【使用例】



△ 警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

本製品にヘッドセットやイヤホンを取り付けて、緊急呼び出し機能を使用する場合は、[電源/音量]を回して、適切な音量になっていることを確認してください。

下記のような場合、正しく設定されていても緊急呼び出しが通知されなかったり、通知されても警告音が鳴らなかったりすることがあります。

- ◎音量が最小に設定されている場合
- ◎動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
- ◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

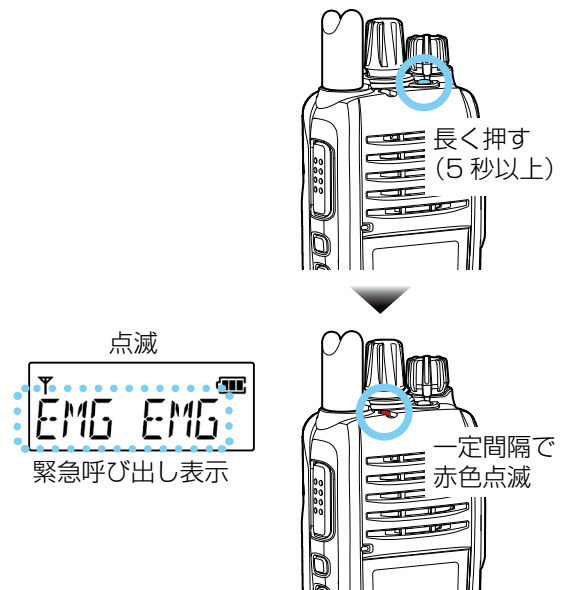
3 そのほかの機能について

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

【緊急呼び出しのしかた】

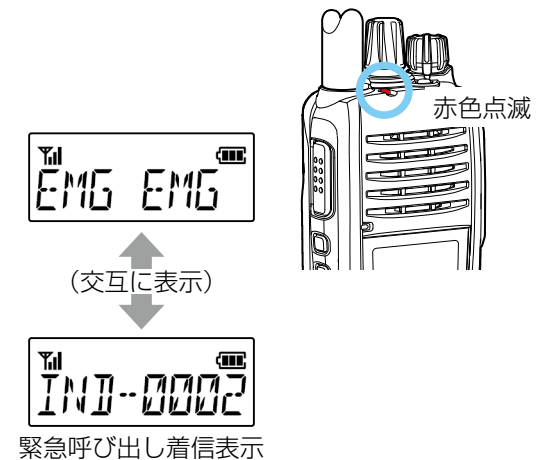
下記の操作をすると、個別呼び出し機能が設定された自分と同じ通話チャンネルの相手へ一斉に緊急呼び出しします。

1. 緊急呼び出しをする相手と同じ通話チャンネル番号を選択します。
2. 「EMG EMG」が表示されるまで、[緊急呼び出し]を長く(5秒以上)押します。
 - 「EMG EMG」表示の点滅と同時に、警告音が「ピピピ…」と鳴って、一定の間隔ごとに、状態表示ランプが赤色に点滅します。
3. その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
 - 応答があると、警告音が停止して、状態表示ランプが緑色に点灯します。
4. 通話をつづけます。
 - 終話すると、「EMG EMG」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。



【緊急呼び出しを受けたときは】

1. 警告音が「ピピピ…」と鳴って、状態表示ランプが赤色に点滅します。
また、「EMG EMG」と相手局番号を交互に表示します。
2. [PTT]を押して、応答します。
 - 警告音が停止します。
3. 通話をつづけます。
 - 終話すると、緊急呼び出しを受信する前の状態に戻ります。



【緊急呼び出しを停止するには】

無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

ご注意

下記の場合は、緊急呼び出しができません。

- ◎「CALL CH」(呼出用チャンネル)を選択している場合
- ◎混信防止機能により送信制限されている場合(「簡易取扱説明書」P.6)
- ◎送信禁止チャンネルを選択している場合(S01～S15含む)

3 そのほかの機能について

■ ローンワーカー機能

本製品を一定時間操作しなかった場合、ローンワーカー機能が動作し、自動で緊急呼び出しをします。
警備中などに定期連絡を義務付けているとき、何らかの事故が発生して連絡ができなかった場合に便利です。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-8)

【動作について】

無線機の操作をしない状態が60分間つづいた場合、「ピッ」と警告音が鳴ります。

警告音が鳴ったあと、さらに60秒間操作をしない状態がつづくと、自動で緊急呼び出しをします。

※緊急呼び出しが動作するまでに、スイッチ操作、またはキー操作をすると、警告音を鳴らすまでの時間(60分)がリセットされます。

※無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

緊急呼び出し機能/ローンワーカー機能の使用について

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能、ローンワーカー機能は、電池の消耗、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)など、周囲の環境によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。

補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

緊急呼び出し機能、ローンワーカー機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

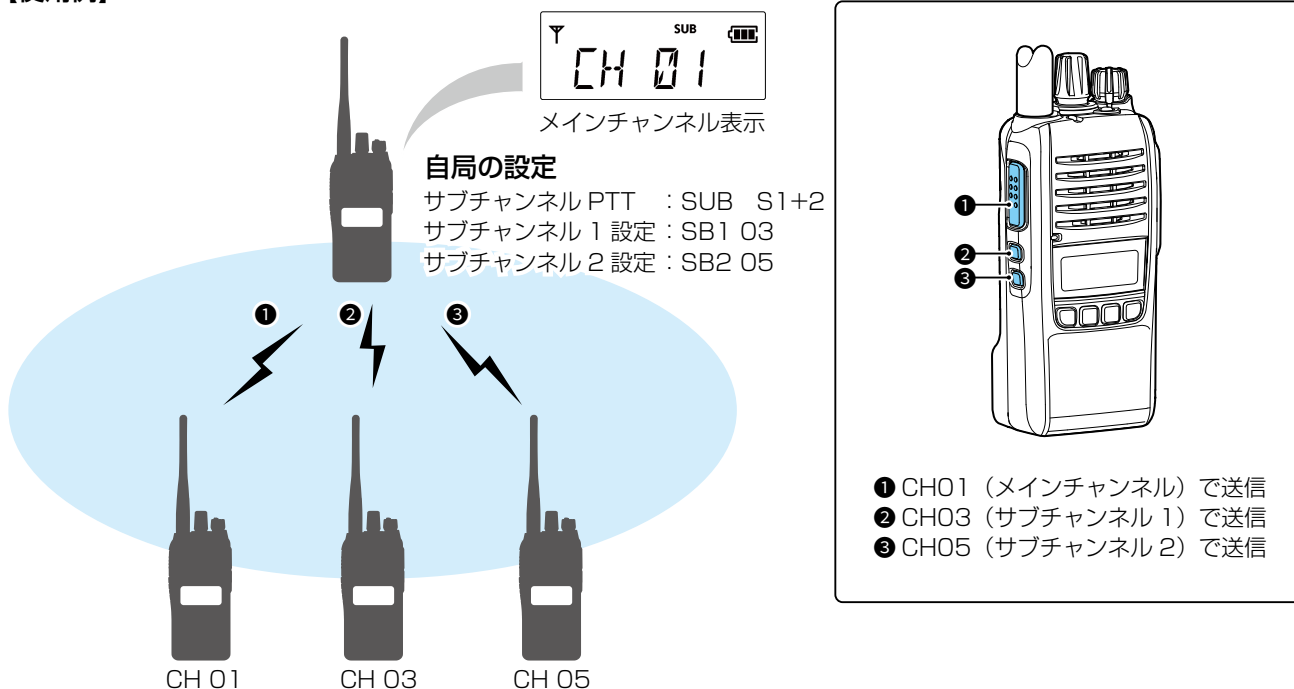
3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能

[サイド1]、[サイド2]にサブチャンネルを割り当てることで、チャンネル切り替え操作をしないで最大3チャンネル間で送受信ができる機能です。

※サブチャンネルPTT機能を設定時、[サイド1]、[サイド2]に割り当てられている機能は無効になります。

【使用例】



【サブチャンネルPTT機能と併用できない機能について】

サブチャンネルPTT機能を使用している場合、下記の機能は使用できません。

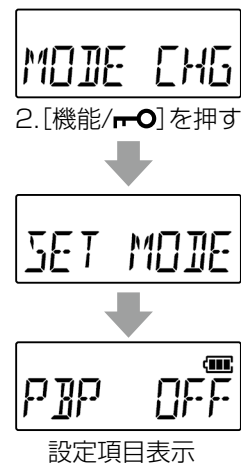
- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ◎ポケットビープ機能(P.3-12) | ◎送信モニタービープ機能(P.4-4) |
| ◎VOX機能(P.4-5) | ◎着信履歴機能(P.4-7) |
| ◎スキャン一時スキップ機能(P.4-10) | ◎スキャン機能(P.3-10、P.3-11) |
| ◎モニター機能(P.3-12) | ◎パワーセーブ機能(P.4-10) |

3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能

1 設定モードにする

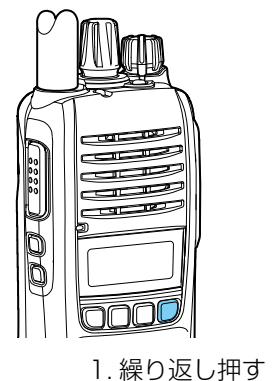
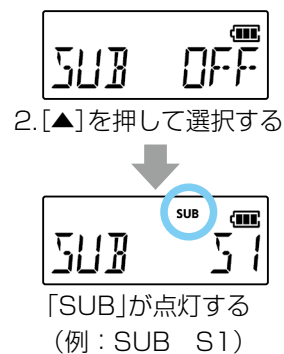
1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/⏻]を押しながら、電源/音量ツマミを回して電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「MODE CHG」が表示されます。
 2. [機能/⏻]から手をはなしたら、すぐに[機能/⏻]を短く押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「SET MODE」のあと、設定項目が表示されていれば、設定モードに移行しています。
- ※「MODE CHG」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。



2 サブチャンネルPTT機能を設定する

1. [機能/⏻]、または[設定]を繰り返し押して、「SUB OFF」(初期設定)を選択します。
2. [▲]を押して、「S1」、「S2」、または「S1+2」を選択します。
 - 「SUB」が点灯し、サブチャンネルPTT機能が有効になります。

- S1 : [サイド1]を押したとき、サブチャンネル1で送信する
- S2 : [サイド2]を押したとき、サブチャンネル1で送信する
- S1+2 : [サイド1]を押したときはサブチャンネル1、[サイド2]を押したときはサブチャンネル2で送信する



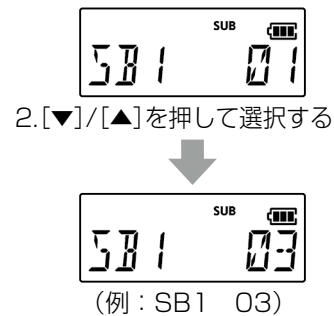
3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能

3 サブチャンネルに通話チャンネルを割り当てる

1. [機能/PTT]を押して、「SB1 01」(初期設定)を選択します。
2. [▼]/[▲]を押して、サブチャンネル1に割り当てる通話チャンネルを選択します。

※サブチャンネルPTT機能の設定が「S1+2」のときは、もう一度[機能/PTT]を押して、「SB2 02」(初期設定)を選択し、サブチャンネル2に通話チャンネルを割り当ててください。

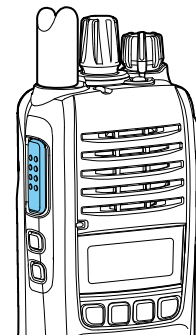
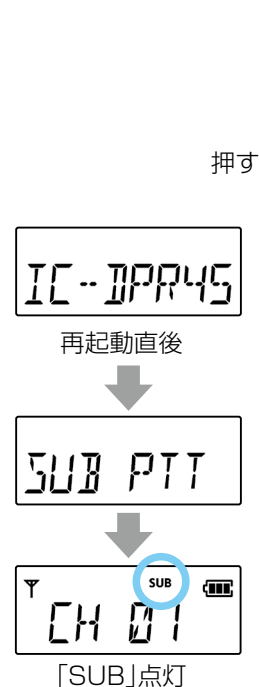


1. 押す

4 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

- 無線機が再起動後、サブチャンネルPTT機能が使用できるようになります。
- ※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
- ※設定モードを解除するまで通話できません。

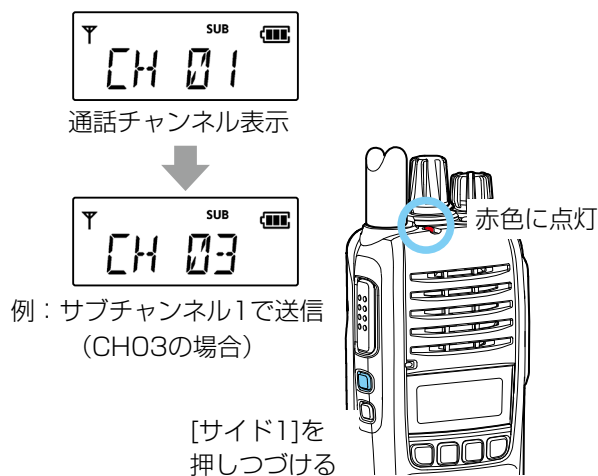


3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能

◇サブチャンネルで送信する

[サイド1]、または[サイド2]を押しつづけると、割り当てられた通話チャンネルで送信します。



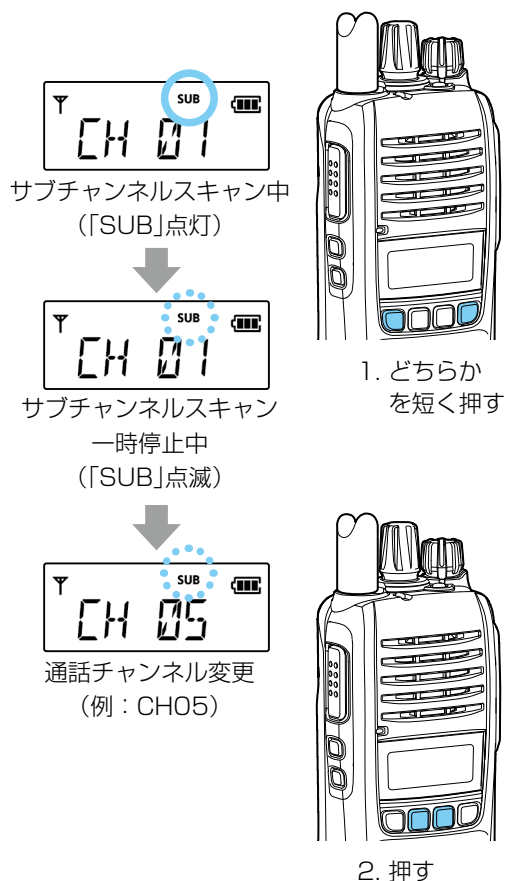
【通話チャンネルの変更について】

待ち受け中は、設定したサブチャンネルと通話チャンネルをスキャンして、いつでも受信できるように監視しています。

サブチャンネルのスキャン中(「SUB」点灯)は、表示中の通話チャンネルを変更できません。

通話チャンネルを変更する場合は、以下の手順で変更してください。

1. [設定]、または[機能/]を短く押します。
 - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスキャンが一時停止します。
2. 「▼」、「▲」を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。



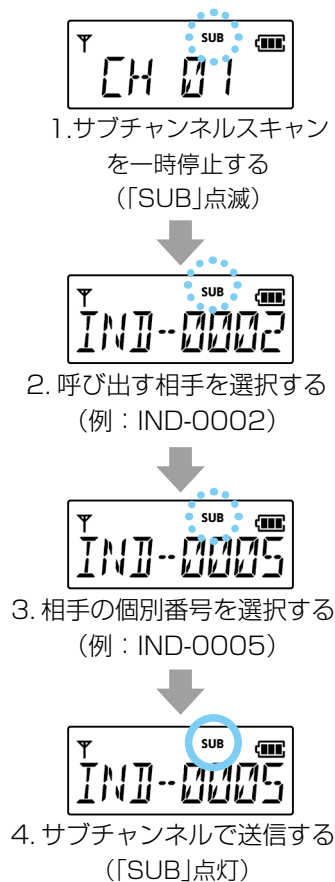
3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能

◇サブチャンネルで個別呼び出しする

お買い上げの販売店で個別呼び出し機能が設定されている場合、サブチャンネルで個別呼び出しができます。(P.4-6)

1. 「設定」、または[機能/ ]を短く押します。
 - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスクランが一時的に停止します。
2. 「SUB」が点滅しているあいだに、[機能/ ]を繰り返し押し、呼び出す相手を選択します。
3. [▼]/[▲]を押して、相手の個別番号、または所属するグループ番号を選択します。
4. 他局が通信していないこと(状態表示ランプ：消灯)を確認後、[サイド1]、または[サイド2]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。



◇サブチャンネルで受信する

サブチャンネルで受信すると、サブチャンネルに設定された通話チャンネル表示(例：CH 03)になります。応答するときは、そのサブチャンネルが設定されている[サイド1]、または[サイド2]を押します。

※「メインPTTチャンネルの切り替え」を「RES」に設定したときは、[PTT]で応答できます。(P.4-12)

ご注意

「SUB」が点灯しているあいだ、無線機は常にサブチャンネルをスクランしています。

[設定]や[機能/ ]の操作後など、サブチャンネルのスクランが一時的に停止中(「SUB」点滅)は、サブチャンネルで受信できませんので、ご注意ください。



3 そのほかの機能について

■ プライベートチャンネル機能

特定の通話チャンネル(例：CALL CH)をプライベートチャンネルに設定することで、よく利用する通話チャンネルとの切り替えが簡単になります。

※工場出荷時や全設定初期化時は、「CALL CH」(呼出用チャンネル：CH15)がプライベートチャンネルに設定されています。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-8)

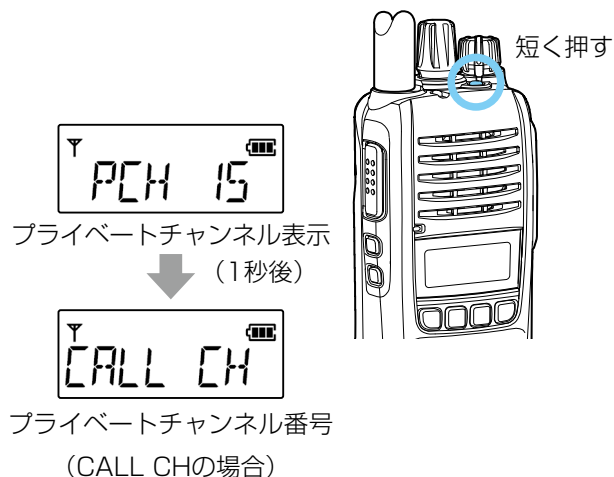
※プライベートチャンネル番号が表示されているとき、サブチャンネルPTT機能は無効になり、サブチャンネルPTT機能と併用できない機能も使用できません。(P.3-4)

【操作のしかた】

[緊急呼び出し]を短く押すと、プライベートチャンネル番号に切り替わります。

同じ操作をすると、通話チャンネル番号に戻ります。

※プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、プライベートチャンネル機能は無効です。



3 そのほかの機能について

■ プライベートチャンネルスキャン機能

通話チャンネルを受信しながら、プライベートチャンネルを一定の時間ごとに受信(監視)できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

操作をする前に、設定モードで下記の設定をしてください。

- ◎サイドキーのスキャン割り当て(P.4-8)
- ◎スキャン対象をプライベートCHに設定(P.4-8)

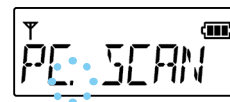
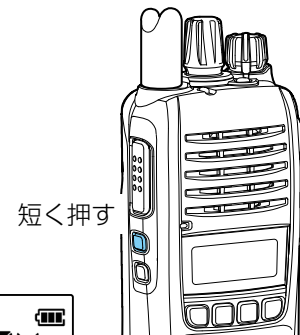
※サブチャンネルPTT機能を使用している場合、プライベートチャンネルスキャン機能は使用できません。(P.3-4)

例：[サイド1](短押し)にプライベートチャンネルスキャンを設定した場合

【操作のしかた】

スキャン機能(SCAN)を割り当てた[サイド1]、[サイド2]を操作すると、「ピッ」と鳴ります。

- プライベートチャンネルスキャンを開始します。
 - ※「PC. SCAN」が表示されます。
 - ※プライベートチャンネルに秘話キーが設定されているときは、スキャン中に、「0」が表示されます。
 - ※プライベートチャンネルと同じ通話チャンネルを選択しているときは、スキャンしません。



プライベートチャンネルスキャン中の表示(「.」点滅)

【プライベートチャンネルスキャンを解除するには】

[設定]、[機能/☐○]、[緊急呼び出し](短押し)、または「スキャン」を割り当てた[サイド1]、[サイド2]を操作します。
※電源を入れなおしても、解除されません。

【プライベートチャンネルスキャン動作について】

- ◎スキャン中は、通話チャンネルで待ち受け中、2秒ごとにプライベートチャンネルをスキャンします。
スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。
- ◎電波を受信中は、設定モードのスキャン停止時間(P.4-9)とスキャン再開時間(P.4-9)の設定にしたがってスキャンします。
このとき、緊急呼び出しをするとスキャン動作が解除されます。
- ◎プライベートチャンネルに上空用チャンネル(S01～S15)が設定されている場合は、上空用チャンネルをプライベートチャンネルスキャンの対象にできます。(P.4-10)
- ◎スキャン中に[PTT]を押すと、通話チャンネルで送信します。

3 そのほかの機能について

■ メモリーチャンネルスキャン機能

よく利用する通話チャンネルと、設定モードで設定したチャンネルを順次切り替える機能です。

※初期設定では、使用できません。

設定モードで、下記の設定が必要です。

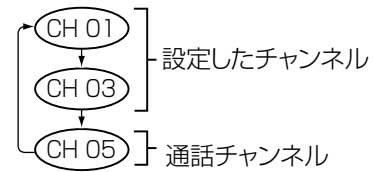
◎サイドキーのスキャン割り当て(P.4-8)

◎スキャン対象をメモリーCHに設定(P.4-9)

◎通話チャンネル毎のスキャン設定でスキャン対象チャンネルを設定(P.4-9)

※サブチャンネルPTT機能を使用している場合、メモリーチャンネルスキャン機能は使用できません。(P.3-4)

メモリーチャンネルスキャンのイメージ



例：[サイド1](短押し)にメモリーチャンネルスキャンを設定した場合

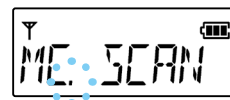
【操作のしかた】

スキャン機能(SCAN)を割り当てた[サイド1]、[サイド2]を操作すると、「ピッ」と鳴ります。

- メモリーチャンネルスキャンを開始します。

※「MC. SCAN」が表示されます。

※設定したチャンネルが1件だけで、その番号と同じ通話チャンネルを選択しているときは、スキャンしません。



メモリーチャンネルスキャン中の表示(「.」点滅)

【メモリーチャンネルスキャンを解除するには】

[設定]、[機能/]、[緊急呼び出し](短押し)、または「スキャン」を割り当てた[サイド1]、[サイド2]を操作します。

※電源を入れなおしても、解除されません。

【メモリーチャンネルスキャン動作について】

◎スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。

◎電波を受信中は、設定モードのスキャン停止時間(P.4-9)とスキャン再開時間(P.4-9)の設定にしたがってスキャンします。

このとき、緊急呼び出しをするとスキャン動作が解除されます。

◎スキャン中に[PTT]を押すと、通話チャンネルで送信します。

3 そのほかの機能について

■ モニター機能

モニター機能は、次のような場合に使用します。

- ◎受信音がない状態で「ザー」という音を聞きながら音量を調整するとき
- ◎ユーザーコード、相手局番号、グループ番号が異なる他局への通話を聞くと
※他局が秘話機能を使用している場合は、秘話処理された電子音だけが聞こえます。

【操作のしかた】

[サイド1]、[サイド2]を押しているあいだ、有効になります。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードで、サイドキーの割り当てにある長押し動作を「MONI」(モニター機能)に設定してください。(P.4-8)

※サブチャンネルPTT機能を使用している場合、モニター機能は使用できません。(P.3-4)

■ ポケットビープ機能

下記の呼び出しを受けたとき、ビープ音で通知する機能です。

このときのビープ音は、いずれかのキー、またはCH切り替えツマミを操作([緊急呼び出し]は短押し)すると、停止できます。

※サブチャンネルPTT機能を使用している場合、ポケットビープ機能は使用できません。(P.3-4)

【ユーザーコードによる呼び出しを受けたとき】

「」の点滅とビープ音で通知します。

【個別呼び出しによる呼び出しを受けたとき】

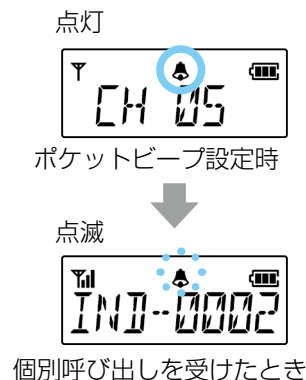
ビープ音で通知します。

※ユーザーコードと併用したときも同じです。

※個別呼び出しを受けたときは、ポケットビープの設定に関わらず、「」が点滅します。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-4)



■ ポケットビープメロディー機能

ポケットビープ機能で呼び出しを受けたときの呼び出し音をメロディー音(9種類)に設定できます。

このときに鳴るメロディー音は、いずれかのキー、またはCH切り替えツマミを操作([緊急呼び出し]は短押し)すると、停止できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-4)

※呼び出しを受けたときの表示は、ポケットビープ機能と同じです。

3 そのほかの機能について

■ 着信履歴機能

個別呼び出しやグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号(相手の自局番号)やグループ番号が記憶されます。記憶された相手局番号は、呼び出しに利用できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-7)

【着信履歴の確認と呼び出しについて】

1. 右図のように、「RX HIST」と表示されるまで、
[機能/⏏]を押します。
※「RX HIST」が表示されないときは、着信履歴がありません。
※着信履歴が2件以上の場合は、[▲]、[▼]を繰り返し押しすると、確認できます。
※「RX HIST」から順に最新の履歴となるように記憶します。
2. 呼び出す相手、またはグループの番号を表示した状態で、[PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。
 - ・状態表示ランプが赤色に点灯します。

【着信履歴の内容や件数に異常があると感じたときは】

設定モードの着信履歴消去から履歴を消去してください。(P.4-7)

それでも改善しない場合は、すべての設定を初期化してください。(P.4-17)

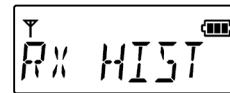
【着信履歴件数と履歴の消去について】

※最大10件の着信履歴を記憶できます。

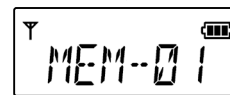
10件を超えると、古い着信履歴から削除されます。

※全局呼び出しの場合は、着信履歴に記憶されません。

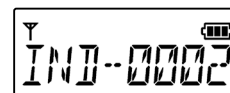
※着信履歴の消去は、設定モードからできます。
(P.4-7)



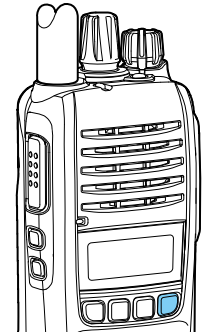
着信履歴表示



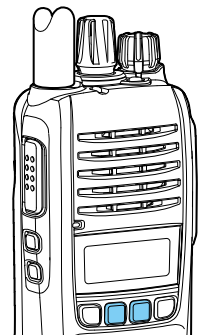
履歴1 最新
(グループ01)



履歴2
(相手の個別番号)



押す



押す

■ 設定項目一覧

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□欄の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(網かけなし)の項目が表示されます。

項目名	本体表示	初期設定値	参照
ポケットビープ	PBP OFF	OFF	P.4-4
ポケットビープメロディー	MLDY 1	1	P.4-4
送信モニタービープ	TBP ON	ON	P.4-4
終話信号受信ビープ	EBP ON	ON	P.4-4
ビープ音量設定	BVOL LNK	LNK(連動)	P.4-4
音量固定時レベル	BVOL 15	15	P.4-5
ユーザーコード	UC COM	COM(共通)	P.4-5
秘話	SC COM	COM(共通)	P.4-5
チャンネル番号音声案内	GUID OFF	OFF	P.4-5
マイクゲイン	MIC 0	0	P.4-5
VOX	VOX OFF	OFF	P.4-5
VOX感度	VSNS 3	3	P.4-6
VOXディレイ	VDLY 1.5S	1.5S(1.5秒)	P.4-6
個別呼び出し設定	IDCL OFF	OFF	P.4-6
自局番号設定	OWN 0001	0001	P.4-6
相手局番号表示	IND ON	ON	P.4-6
グループ番号表示	GRP OFF	OFF	P.4-6
メンバー指定	GRP 01	01(メンバー指定しない)	P.4-7
着信履歴	RLG OFF	OFF	P.4-7
終話後表示	EDP BEF	BEF(通話前)	P.4-7
着信履歴消去	LOG ----	----(消去しない)	P.4-7
エマージェンシー	EMG OFF	OFF	P.4-8
ローンワーカー機能	LONE OFF	OFF	P.4-8
プライベートチャンネル	PCH ON	ON	P.4-8
プライベートチャンネル番号	PCH CALL	CALL(呼出CH)	P.4-8
サイド1キー 短押し	S1S OFF	OFF	P.4-8
サイド1キー 長押し	S1L OFF	OFF	P.4-8
サイド2キー 短押し	S2S OFF	OFF	P.4-8
サイド2キー 長押し	S2L OFF	OFF	P.4-8
スキャン機能	SCAN PCH	PCH(プライベートCH)	P.4-9
通話チャンネル毎のスキャン設定	CH 01	CH 01(スキャン対象外)	P.4-9
スキャン停止時間	SWT 10S	10S(10秒)	P.4-9
スキャン再開時間	SRS 5S	5S(5秒)	P.4-9
通話後スキャン動作	SEND RLS	RLS(解除)	P.4-9
スキャン一時スキップ機能	SSKP 5M	5M(5分)	P.4-10
一時音量切り替え	TVOL -5	-5	P.4-10

4 各種機能の設定

■ 設定項目一覧

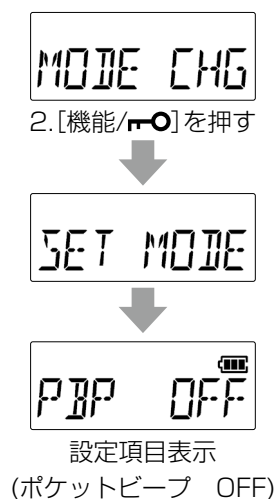
項目名	本体表示	初期設定値	参照
パワーセーブ	PSV OFF	OFF	P.4-10
キーロック時の音量操作	LCK VLOK	VLOK(音量可)	P.4-10
オートキーロック	ATLK OFF	OFF	P.4-10
上空用チャンネル	SKY OFF	OFF	P.4-10
バックライト設定	BKLT AT	AT(操作時自動点灯)	P.4-10
電源オンLED	PLED RNB	RNB(虹色)	P.4-11
外部電源初期値	EXTV AT	AT(自動)	P.4-11
使用バッテリー	BAT LION	LION(リチウムイオン)	P.4-11
イヤホン設定	EAR OFF	OFF	P.4-11
送信イコライザー	TEQ FLAT	FLAT(フラット)	P.4-11
受信イコライザー	REQ FLAT	FLAT(フラット)	P.4-11
サブチャンネルPTT	SUB OFF	OFF	P.4-12
サブチャンネル1設定	SB1 01	01	P.4-12
サブチャンネル2設定	SB2 02	02	P.4-12
メインPTTのチャンネル切り替え	PTT FIX	FIX(固定)	P.4-12
サブPTT動作	SB SHORT	SHORT(即時送信)	P.4-13
VS-3サイドキー操作	V535 OFF	OFF	P.4-13
ビープ設定 メインチャンネル	PTTB OFF	OFF	P.4-13
ビープ設定 サブチャンネル1	S1B OFF	OFF	P.4-13
ビープ設定 サブチャンネル2	S2B OFF	OFF	P.4-13
送信後スキャン再開時間	TES END	END(終話)	P.4-13
受信後スキャン再開時間	RES END	END(終話)	P.4-14
操作後スキャン再開時間	OPS 10S	10S(10秒)	P.4-14
サーチタイマー設定 メイン⇒サブ1	M1S1 OFF	OFF	P.4-14
サーチタイマー設定 サブ1⇒メイン	S1M OFF	OFF	P.4-14
サーチタイマー設定 メイン⇒サブ2	M1S2 OFF	OFF	P.4-14
サーチタイマー設定 サブ2⇒メイン	S2M OFF	OFF	P.4-14
サーチタイマー設定 サブ1⇒サブ2	S1S2 OFF	OFF	P.4-15
サーチタイマー設定 サブ2⇒サブ1	S2S1 OFF	OFF	P.4-15
Bluetooth 機能	BT OFF	OFF	P.4-15
Bluetooth ペアリング	PAIRING	PAIRING(ペアリング)	P.4-15
Bluetooth パワーセーブ	BPS OFF	OFF	P.4-15
Bluetooth ワンタッチPTT	BOP OFF	OFF	P.4-16
Bluetooth PTT&マイク切り替え	PRM ALL	ALL(すべて有効)	P.4-16
Bluetooth AF出力切り替え	BAF HS	HS(ヘッドセット)	P.4-16
Bluetooth マイクレベルオフセット	BMO 8	8	P.4-16
Bluetooth AFレベルオフセット	BAO 8	8	P.4-16
Bluetooth 初期化	BRST NO	NO	P.4-17
全設定初期化	RST NO	NO	P.4-17

4 各種機能の設定

■ 設定モードに移行するには

【操作のしかた】

- 無線機の電源を切った状態で、[機能/⏻]を押しながら、電源/音量ツマミを回して電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「MODE CHG」が表示されます。
 - [機能/⏻]から手をはなしたら、すぐに[機能/⏻]を短く押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「SET MODE」のあと、設定項目が表示されていれば、設定モードに移行しています。
- ※「MODE CHG」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。



■ 設定のしかた

設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

- [設定]、または[機能/⏻]を短く押して、設定項目を選択します。
 - 目的の機能名称で、[▼]、[▲]を押します。
 - 設定値が切り替わります。
- ※ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
- [PTT]を押します。
 - 選択した設定を確定し、設定モードが解除され、チャンネル表示に戻ります。
- ※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
- ※設定モードを解除するまで通話できません。

【設定画面の見かた】



4 各種機能の設定

■ 設定項目について

ポケットビーブ (初期設定：OFF)



OFF設定時



MLDY(メロディー)設定時

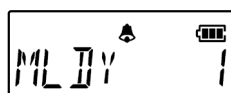
ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたときの通知動作を設定します。

- OFF : ポケットビーブを使用しない
- 30 : 「トルルル」と30回連続で鳴る
- 3 : 「トルルル」と3回連続で鳴る
- 1M : 「トルルル」と3回連続で鳴ったあと、1分ごとに1回鳴る
- CONT : 「トルルル」と3回連続で鳴ったあと、2秒ごとに1回鳴る
- PI- : 「ピー」と1回鳴る
- PPP : 「ピピピ」と1回鳴る
- MLDY : 「ポケットビーブメロディー」で設定したメロディーが鳴る

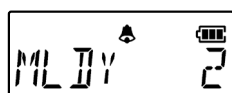
※「サブチャンネルPTT」が「OFF」以外に設定したときは、ポケットビーブ機能が無効になり、項目も表示されません。

※グループ、または全局呼び出しを受けたときは、「OFF」以外に設定されていても鳴りません。

ポケットビーブメロディー (初期設定値：1)



1設定時

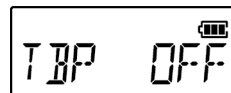


2設定時

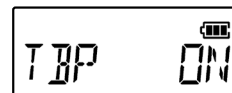
「ポケットビーブ」を「MLDY」に設定したときの、メロディーを設定します。

- 選択肢：1～9

送信モニタービーブ (初期設定：ON)



OFF設定時



ON設定時

[PTT]を押したときのビーブ音を設定します。

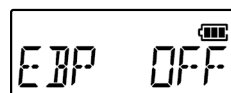
- OFF : ビーブ音(ピッ)が鳴らない
- ON : ビーブ音(ピッ)が鳴る

※「サブチャンネルPTT」が「OFF」以外に設定したときは、送信モニタービーブ機能が無効になり、項目の表示もされません。

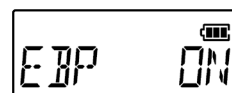
※送信できない場合など、禁止されている操作は、送信モニタービーブの設定に関係なく、音色の異なるビーブ音が鳴ります。

※VOX機能による送信時は、鳴りません。

終話信号受信ビーブ (初期設定：ON)



OFF設定時



ON設定時

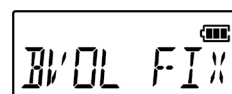
通話相手の終話信号を受信したときのビーブ音を設定します。

- OFF : ビーブ音(ピッ)が鳴らない
- ON : ビーブ音(ピッ)が鳴る

ビーブ音量設定 (初期設定値：LNK)



LNK(連動)設定時



FIX(固定)設定時

ポケットビーブが動作したときや、キー操作をしたときなどの、ビーブ音量を設定します。

- LNK : 無線機本体で調整した音量に連動する
- FIX : 「音量固定時レベル」で設定された音量に固定する

4 各種機能の設定

■ 設定項目について

音量固定時レベル (初期設定値：15)



15設定時



32設定時

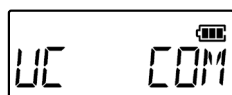
「ビープ音量設定」を「FIX」に設定したときの、ビープ音の音量を設定します。

- ・ 設定範囲：0～32

ユーザーコード (初期設定値：COM)



CH設定時

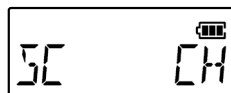


COM(共通)設定時

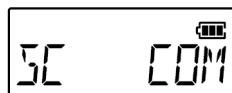
ユーザーコードについて設定します。

- ・ CH : 通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用する
- ・ COM : 通話チャンネル共通のユーザーコードを使用する

秘話 (初期設定値：COM)



CH設定時

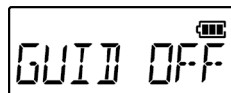


COM(共通)設定時

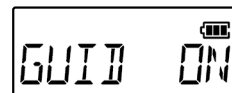
秘話キーについて設定します。

- ・ CH : 通話チャンネルごとに異なる秘話キーを使用する
- ・ COM : 通話チャンネル共通の秘話キーを使用する

チャンネル番号音声案内 (初期設定：OFF)



OFF設定時



ON設定時

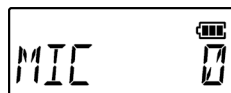
通話チャンネル番号を読み上げる機能を設定します。

- ・ OFF : 使用しない
- ・ ON : 電源を入れたときや、チャンネルを変更したときに、選択された通話チャンネル番号を読み上げる

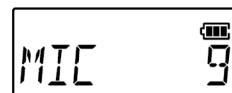
※「CALL CH」(呼出用チャンネル：CH15)選択時は、「呼び出し」と読み上げます。

※「CH S01～CH S15」(上空チャンネル)選択時は、「上空1」(例：CH S01)と読み上げます。

マイクゲイン (初期設定値：0)



0設定時



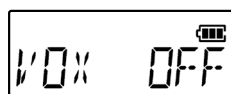
9設定時

マイク感度を設定します。

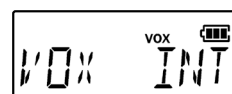
- ・ 設定範囲(3dB刻み)：－15(低)～0(中)～9(高)

※感度を上げる(数値を大きくする)と比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、周りの音も聞こえやすくなります。

VOX (初期設定：OFF)



OFF設定時



INT設定時

VOX機能を設定します。

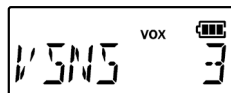
「INT」、「BT」のいずれかに設定すると、マイクに向かって呼びかけるだけで、送信できます。

- ・ OFF : VOX機能を使用しない
- ・ INT : 無線機本体のマイクによるVOX送信ができる
- ・ BT : BluetoothのマイクによるVOX送信ができる

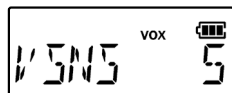
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

VOX感度 (初期設定値：3)



3設定時

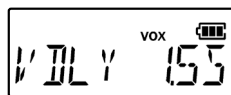


5設定時

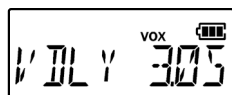
VOX感度を設定します。

- ・ 設定範囲：1(低)～3(中)～5(高)
- ※「VOX」を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。
- ※VOX感度を上げる(数値を大きくすると、比較的小さな声でも送信できますが、周りの雑音でも送信しやすくなりますので、ご注意ください。

VOXディレイ (初期設定値：1.5S)



1.5(1.5秒)設定時



3.0S(3秒)設定時

VOX使用時、送信停止までの遅延時間を設定します。
話している途中で受信に切り替わる場合は、長く設定してください。

- ・ 設定範囲：0.5S(0.5秒)(短)、1.0S(1秒)、1.5S(1.5秒)(中)、2.0S(2秒)、2.5S(2.5秒)、3.0S(3秒)(長)
- ※「VOX」を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。

個別呼び出し設定 (初期設定：OFF)



OFF設定時



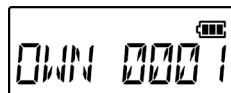
ON設定時

同じ通話チャンネルを使用する相手のうち、通話したい相手だけを呼び出す機能を設定します。

- ・ OFF：使用しない
- ・ ON：使用する

※無線機本体のパワーセーブ機能と併用できないため、「ON」に設定すると、「パワーセーブ」は、自動的に「OFF」になり、変更できません。(P.4-10)

自局番号設定 (初期設定値：0001)



0001設定時



0002設定時

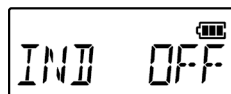
個別呼び出しを受けるための自局番号を設定します。

- ・ 設定範囲：0001～9999
- ※「個別呼び出し設定」を「ON」に設定したとき、表示されます。

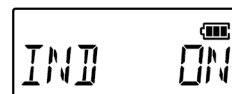
【編集できる桁を変更するには】

1. 「設定」を長く(約1秒)押します。
 - ・ 上位1桁目が点滅します。
2. 上位2桁目以降は、「設定」を繰り返し押します。
3. 編集を終了するときには、「機能/」を短く押す、または「設定」を長く(約1秒)押します。
 - ・ 桁の点滅が点灯に変わります。

相手局番号表示 (初期設定：ON)



OFF設定時



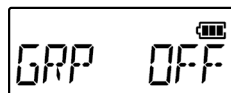
ON設定時

個別呼び出しをする相手の自局番号を選択する項目の表示を設定します。

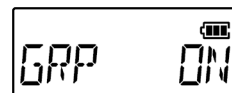
- ・ OFF：表示しない
- ・ ON：表示する

※「個別呼び出し設定」を「ON」に設定したとき、表示されます。

グループ番号表示 (初期設定：OFF)



OFF設定時



ON設定時

グループ呼び出しをする相手のグループ番号を選択する項目の表示を設定します。

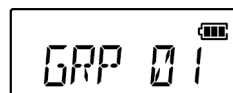
- ・ OFF：表示しない
- ・ ON：表示する

※「個別呼び出し設定」を「ON」に設定したとき、表示されます。

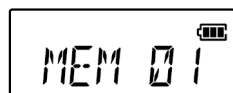
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

メンバー指定 (初期設定値：GRP 01)



GRP 01 設定時



MEM 01 設定時

メンバー指定したグループ番号(01～10)でグループ呼び出しを受けると着信します。

- MEM (01～10)：メンバー指定する
- GRP (01～10)：メンバー指定しない

※「個別呼び出し設定」を「ON」に設定したとき、表示されます。

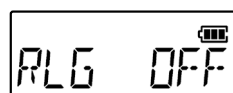
※設定は、[サイド2]を押すごとに、切り替わります。

※複数のグループ番号をメンバーに指定できます。

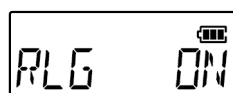
[▼]、[▲]を押して、指定するグループ番号を選択します。

※メンバー指定をしていないグループ番号でグループ呼び出しを受けても、着信しません。

着信履歴 (初期設定：OFF)



OFF 設定時



ON 設定時

個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号やグループ番号を着信履歴として表示するかどうかを設定します。(P.4-6)

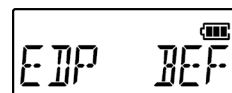
- OFF：表示しない
- ON：表示する

※「個別呼び出し設定」を「ON」に設定したとき、表示されます。

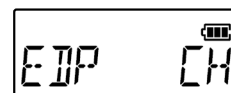
※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したときは、着信履歴機能が無効になり、項目の表示もされません。

※着信履歴は、「OFF」のときも記憶されます。

終話後表示 (初期設定値：BEF)



BEF 設定時



CH 設定時

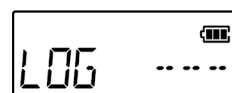
通話を終了後、待ち受け状態での表示内容を設定します。

- BEF：通話前の表示に戻る
- CH：通話チャンネル表示に戻る

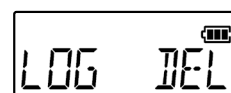
※「個別呼び出し設定」を「ON」に設定したとき、表示されます。

※個別呼び出しを受けて応答しなかった場合は、相手局番号が点滅表示されます。(P.4-6)

着信履歴消去 (初期設定値：——)



—— 設定時



DEL (消去) 設定時

自局番号やグループ番号の変更により、着信履歴を個別呼び出しなどに利用できなくなった場合、その履歴を消去します。

- ——：着信履歴を消去しない
- DEL：[PTT]を押すと、着信履歴を消去する

※「個別呼び出し設定」を「ON」に設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」が「OFF」以外に設定したときは、着信履歴消去機能が無効になり、項目の表示もされません。

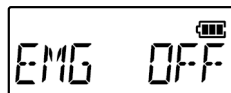
※消去後、再度[PTT]を押すと、設定モードが解除されます。

※[DEL]を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、消去しないと認識され、「——」に切り替わります。

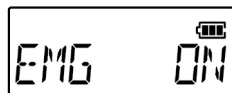
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

エマージェンシー (初期設定：OFF)



OFF設定時



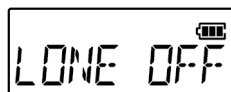
ON設定時

緊急呼び出し(エマージェンシー)機能を設定します。

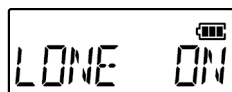
- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※緊急呼び出し機能を使用するには、この機能と個別呼び出し機能の両方を送信側と受信側の無線機に設定してください。

ローンワーカー機能 (初期設定：OFF)



OFF設定時



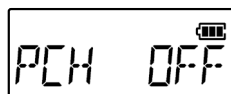
ON設定時

本製品を一定時間操作しなかった場合、自動的に緊急呼び出し(エマージェンシー)をするローンワーカー機能を設定します。

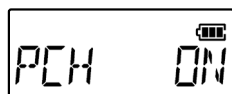
- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「エマージェンシー」を「ON」に設定したとき、表示されます。

プライベートチャンネル (初期設定：ON)



OFF設定時



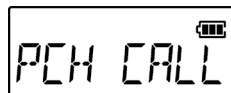
ON設定時

プライベートチャンネル機能を設定します。(P.3-9)

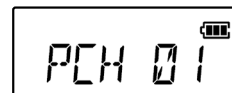
- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「ON」に設定すると、[緊急呼び出し]を短く押すことで、プライベートチャンネルへ切り替えます。

プライベートチャンネル番号 (初期設定値：CALL)



CALL設定時



01設定時

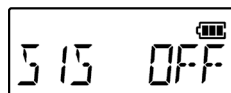
通話チャンネル、または上空用チャンネル(S01～S15)からプライベートチャンネルを設定します。

- 設定範囲：01～14、CALL(呼出)、16～82、S01～S15*

※「プライベートチャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

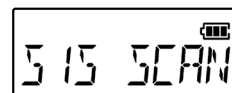
★「上空用チャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

サイドキーの割り当て (初期設定：OFF)



[サイド1]短押し

OFF設定時



[サイド1]短押し

SCAN設定時

[サイド1]、[サイド2]を短く、または長く(約1秒)押したときの動作を設定します。

※S1S→[サイド1]短押し S1L→[サイド1]の長押し
S2S→[サイド2]短押し S2L→[サイド2]の長押し

- OFF : 使用しない
- MONI^{★1★2} : モニター機能を使用する(P.3-12)
- CH : 表示を通話チャンネルに切り替える
- SCAN^{★2} : スキャン機能を使用する(P.4-9)
- SKIP^{★2} : スキャン一時スキップ機能を使用する
※スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する機能です。
- TVOL : 一時的に音量を変更する

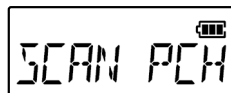
★1 長押し(S1L、S2L)操作だけに割り当てできる項目です。

★2 「サブチャンネルPTT」を使用している場合、無効です。

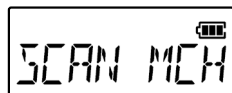
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

スキャン機能 (初期設定値：PCH)



PCH設定時



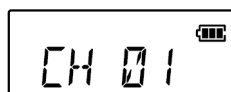
MCH設定時

スキャンタイプを設定します。

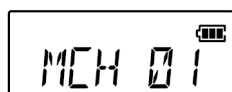
- PCH：プライベートチャンネルスキャンを有効にする
 - MCH：メモリーチャンネルスキャンを有効にする
- ※「サイドキーの割り当て」で、「SCAN」を設定したとき、表示されます。
- ※「サブチャンネルPTT」が「OFF」以外に設定したときは、スキャン機能が無効になり、スキャン関連項目の表示もされません。

通話チャンネル毎のスキャン設定

(初期設定値：CH 01 (スキャン対象外))



CH01 (スキャン対象外)



CH01 (スキャン対象時)

メモリーチャンネルスキャンの対象にする通話チャンネルを設定します。

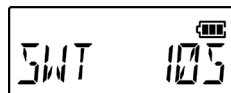
[▼]、[▲]でチャンネル選択後、[サイド2]を押すごとに、メモリーチャンネルスキャンの対象チャンネルに指定/解除が切り替わります。

- 設定範囲：01～14、CALL(呼出)、16～82、S1～S15*

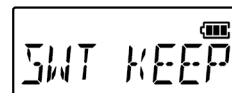
★「上空用チャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

※「スキャン機能」を「MCH」に設定したとき、表示されます。

スキャン停止時間 (初期設定値：10S)



10秒設定時



KEEP(保持)設定時

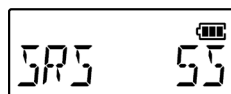
電波を受信中、プライベートチャンネルスキャン、メモリーチャンネルスキャンを停止する時間を設定します。

- 設定範囲：2S～20S(2秒刻み)、KEEP(保持)
- ※電波を受信中に、スキャン停止時間が経過すると、スキャンを再開します。

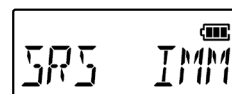
なお、スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたときは、「スキャン再開時間」の設定にしたがってスキャンを再開します。

※「KEEP」を設定したときは、待ち受け状態になるまで、スキャンを停止します。

スキャン再開時間 (初期設定値：5S)



5秒設定時

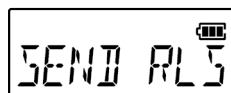


IMM(即時)設定時

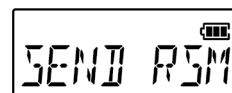
スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンを再開するまでの時間を設定します。

- IMM：すぐにスキャンを再開
- 1S～5S：設定時間後にスキャンを再開
- NON：[▼]、[▲]を操作するまで停止

通話後スキャン動作 (初期設定値：RLS)



RLS(解除)設定時



RSM(再開)設定時

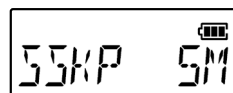
スキャン中、[PTT]を操作したときのスキャン動作を設定します。

- RLS：スキャンを解除
- RSM：数秒後、スキャンを再開

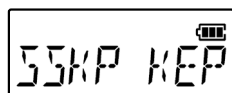
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

スキャン一時スキップ機能 (初期設定値：5M)



5分設定時



KEP(保持)設定時

スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する時間を設定します。

- ・設定範囲：5M～15M(5分刻み)、KEP(保持)

※「サイドキーの割り当て」で、キーのいずれかに「一時スキップ」を設定したとき、表示されます。

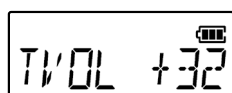
※スキャン一時スキップ機能を使用するには、スキャン機能を「MCH」(メモリーCH)に設定する必要があります。

※「KEP」(保持)を選択したときは、メモリーチャンネルスキャンを解除するまで、スキップ指定した通話チャンネルをスキャンから除外します。

一時音量切り替え機能 (初期設定値：-5)



-5設定時



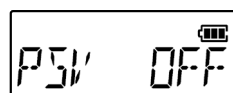
+32設定時

周囲の会話を聞きたいとき、または通話相手の音声がいさいときなどに、瞬時に音量を上げる、または下げるレベルを設定します。

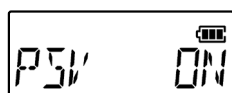
- ・設定範囲：-32～-1、+1～+32

※「サイドキーの割り当て」で、キーのいずれかに「一時音量」を設定したとき、表示されます。

パワーセーブ (初期設定：OFF)



OFF設定時



ON設定時

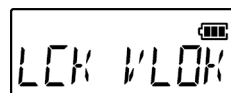
電池の消費を抑えるためのパワーセーブ機能を設定します。

- ・OFF：使用しない
- ・ON：使用する

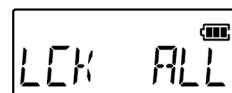
※「ON」に設定したときは、待ち受け状態が10秒を超えると、自動的にパワーセーブ機能が動作します。

※「個別呼び出し」を「ON」、または「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したときは、併用できないため、パワーセーブの設定が自動的に「OFF」になり、表示されません。

キーロック時の音量操作 (初期設定値：VLOK)



VLOK(音量可)設定時

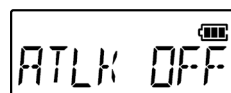


ALL(全キー)設定時

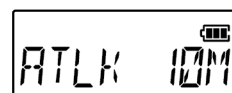
ロック機能動作中の音量調整について設定します。

- ・VLOK：音量操作を有効にする
- ・ALL：音量操作を無効にする

オートキーロック (初期設定：OFF)



OFF設定時

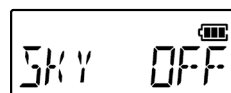


10分設定時

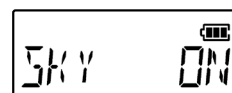
一定時間、スイッチやキーが操作されないとき、選択した時間が経過後にそれらの操作を自動的にロックします。

- ・選択肢：OFF、15S(秒)、30S(秒)、1M(分)、3M(分)、5M(分)、10M(分)

上空用チャンネル (初期設定：OFF)



OFF設定時

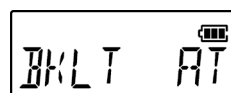


ON設定時

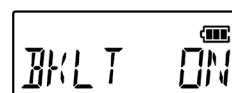
上空用チャンネルの使用について設定します。

- ・OFF：使用しない
- ・ON：使用する

バックライト設定 (初期設定値：AT)



AT(自動)設定時



ON(常時点灯)設定時

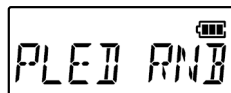
表示部のバックライト状態を設定します。

- ・OFF：常時消灯
- ・AT：キー操作時バックライト点灯
- ・ON：常時点灯

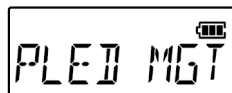
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

電源オンLED (初期設定値：RNB)



RNB(虹色)設定時

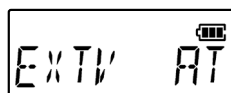


MGT(紫色)設定時

無線機の電源を入れたときに点灯する状態表示ランプの色を設定します。

- 選択肢：OFF、YLW(黄色)、MGT(紫色)、BLU(青色)、CYN(水色)、RED(赤色)、GRN(緑色)、WHT(白色)、RNB(虹色)

外部電源初期値 (初期設定値：AT)



AT(自動)設定時



GND設定時

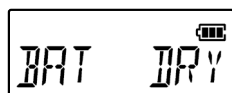
別売品への電源供給を設定します。

- GND：電源を供給しない
- 5V：電源を入れたあと、5Vの電源を供給する
※別売品を接続していない場合でも、常に5Vの電源を供給します。
- AT：別売品を接続すると、自動で電源を供給する

使用バッテリー (初期設定値：LION)



LION設定時

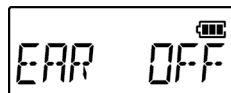


DRY(乾電池)設定時

無線機で使用する電池の種類を設定します。

- LION：充電式リチウムイオン電池(BP-280)を使用する
- DRY：アルカリ乾電池(別売品：BP-312)を使用する

イヤホン設定 (初期設定：OFF)



OFF設定時



ON設定時

別売品のイヤホン装着時に過入力を防ぐため、外部AF出力レベルを下げる機能を設定します。

- OFF：音声レベルを変更しない
- ON：音声レベルを下げる
※ハンドマイクなどの別売品から出力される音声も、音声レベルが下がります。
無線機のスピーカーから出力される音声は変わりません。

送信イコライザー (初期設定値：FLAT)



FLAT(フラット)設定時



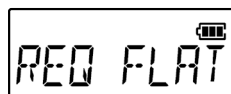
HI(高音強調)設定時

送信時の音質を設定します。

送信側で設定した音声を受信側のスピーカーから出力されます。

- 選択肢：FLAT(フラット)、LOW(低音強調)、MID(中音強調)、HI(高音強調)

受信イコライザー (初期設定値：FLAT)



FLAT(フラット)設定時



HI(高音強調)設定時

受信時の音質を設定します。

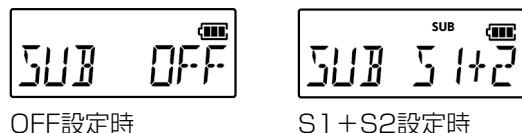
受信音以外に音声案内も変更されます。

- 選択肢：FLAT(フラット)、LOW(低音強調)、MID(中音強調)、HI(高音強調)

4 各種機能の設定

■ 設定項目について

サブチャンネルPTT (初期設定：OFF)



サブチャンネルPTT機能を設定します。

- OFF : サブチャンネルPTT機能を使用しない
- S1 : [サイド1]でサブチャンネルPTT機能を使用する
- S2 : [サイド2]でサブチャンネルPTT機能を使用する
- S1+2 : [サイド1]と[サイド2]でサブチャンネルPTT機能を使用する

※「OFF」以外に設定した場合、キーに割り当てられている機能が無効になります。(P.4-8)

※下記項目が「OFF」のとき、表示されます。

「ポケットビープ」、「VOX」、「着信履歴」、「パワーセーブ」

サブチャンネル1設定 (初期設定値：01)



サブチャンネル1に割り当てる通話チャンネルを設定します。

- 設定範囲：01～14、CALL(CH15)、16～82、S01～S15

※「サブチャンネルPTT」が「S1」、または「S1+S2」の場合：

[サイド1]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信する

※「サブチャンネルPTT」が「S2」の場合：

[サイド2]を押しているあいだ、割り当てたメインチャンネルで送信する

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

サブチャンネル2設定 (初期設定値：02)



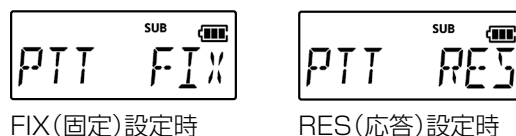
サブチャンネル2に割り当てる通話チャンネルを設定します。

- 設定範囲：01～14、CALL(CH15)、16～82、S01～S15

※[サイド2]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信します。

※「サブチャンネルPTT」を「S1+S2」に設定したとき、設定項目が表示されます。

メインPTTのチャンネル切り替え (初期設定値：FIX)



「サブチャンネル1」、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルで受信したとき、[PTT]を押したときの動作を設定します。

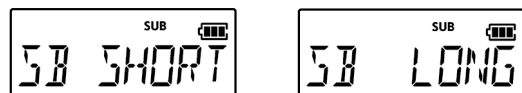
- FIX : [PTT]を押すと、メインチャンネルで送信する
※サブチャンネルの受信に応答できません。
- RES : [PTT]を押すと、サブチャンネルに設定した通話チャンネルで応答する
※応答中は、サブチャンネルで受信する前に表示されていた通話チャンネルでは送信されません。

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

4 各種機能の設定

■ 設定項目について

サブPTT動作 (初期設定値：SHORT)



SHORT設定時

LONG設定時

「サブチャンネル1」、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルを無線機の[サイド1]、[サイド2]で送信するときの操作を設定します。

- SHORT : [サイド1]、[サイド2]を押しつづけると、即時送信する
- LONG : [サイド1]、[サイド2]を押しつづけると、約1秒後に送信する
※サイドキー短押しでサブCHへ移動、長押しでサブCHで送信します。

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

VS-3サイドキー操作 (初期設定：OFF)



OFF設定時

ON設定時

VS-3(別売品)の[▶▶] (早送り:[サイド1]に対応)、[◀◀] (早戻し:[サイド2]に対応)を押して、サブチャンネルに設定した通話チャンネルで送信するかどうかを設定します。

- OFF : 送信しない
- ON : 送信する

※「サブチャンネルPTT機能」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

ビープ設定 メインチャンネル (初期設定：OFF)



OFF設定時

1-1設定時

無線機に現在表示されている通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、1-1～1-3、2-1～2-9、3-1～3-3
- ※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

ビープ設定 サブチャンネル1 (初期設定：OFF)



OFF設定時

1-1設定時

「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、1-1～1-3、2-1～2-9、3-1～3-3
- ※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

ビープ設定 サブチャンネル2 (初期設定：OFF)



OFF設定時

1-1設定時

「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、1-1～1-3、2-1～2-9、3-1～3-3
- ※「サブチャンネルPTT」を「S1+S2」に設定したとき、設定項目が表示されます。

送信後スキャン再開時間 (初期設定値：END)



END(終話)設定時

IMM(即時)設定時

送信後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。

- END : 送信後、約5秒が経過してから、スキャンを再開する
- IMM : 送信後、すぐにスキャンを再開する
- 1S～5S(1秒刻み)、10S、15S、20S(秒)
: 送信後、設定した時間が経過してから、スキャンを再開する

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

4 各種機能の設定

■ 設定項目について

受信後スキャン再開時間 (初期設定値：END)



END(終話)設定時

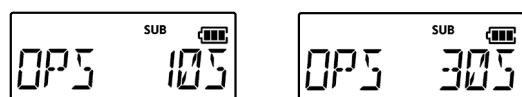
IMM(即時)設定時

信号がなくなってから、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。

- END : 信号がなくなると、約5秒が経過してから、スキャンを再開する
- IMM : 信号がなくなったら、すぐにスキャンを再開する
- 1S～5S(1秒刻み)、10S、15S、20S(秒)
: 信号がなくなると、設定した時間が経過してから、スキャンを再開する

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

操作後スキャン再開時間 (初期設定値：10S)



10S設定時

30S設定時

チャンネル切り替えなどの操作後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : 1S～5S、10S、20S、30S(秒)
- ※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

サーチタイマー設定 メイン⇒サブ1 (初期設定：OFF)



OFF設定時

30S設定時

メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2S、10S、30S(秒)
- ※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます
- ※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

サーチタイマー設定 サブ1⇒メイン (初期設定：OFF)



OFF設定時

30S設定時

「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルを受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2S、10S、30S(秒)
- ※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます
- ※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

サーチタイマー設定 メイン⇒サブ2 (初期設定：OFF)



OFF設定時

30S設定時

メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2S、10S、30S(秒)
- ※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます
- ※「サブチャンネルPTT」を「S1+S2」に設定したとき、設定項目が表示されます。

サーチタイマー設定 サブ2⇒メイン (初期設定：OFF)



OFF設定時

30S設定時

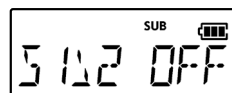
「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルを受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2S、10S、30S(秒)
- ※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます
- ※「サブチャンネルPTT」を「S1+S2」に設定したとき、設定項目が表示されます。

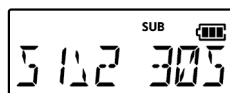
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

サーチタイマー設定 サブ1⇒サブ2 (初期設定：OFF)



OFF設定時



30S設定時

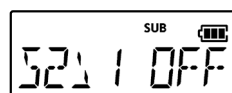
「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルを受信中、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢：OFF、2S、10S、30S(秒)

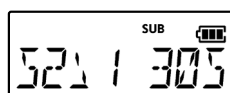
※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます

※「サブチャンネルPTT」を「S1+S2」に設定したとき、設定項目が表示されます。

サーチタイマー設定 サブ2⇒サブ1 (初期設定：OFF)



OFF設定時



30S設定時

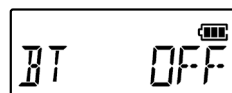
「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルを受信中、「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢：OFF、2S、10S、30S(秒)

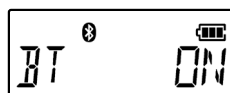
※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます

※「サブチャンネルPTT」を「S1+S2」に設定したとき、設定項目が表示されます。

Bluetooth 機能 (初期設定：OFF)



OFF設定時



ON設定時

Bluetooth機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※Bluetooth接続を切断するときは、「OFF」に設定してください。

Bluetooth ペアリング



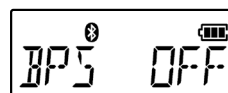
PAIRING設定時

周囲のBluetooth機能対応ヘッドセットを検索し、ペアリングします。

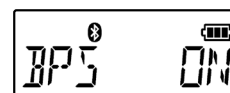
- PAIRING：[サイド2]を押すと、検索を開始

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

Bluetooth パワーセーブ (初期設定：OFF)



OFF設定時



ON設定時

接続しているBluetooth機器のパワーセーブ機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※「ON」に設定したときは、VS-3(別売品)と接続中に2分間、操作、または音声通信がなかった場合、電池の電流消費を抑えるため、VS-3がパワーセーブ状態になります。

パワーセーブ状態でVS-3の[PTT]を押す、または押しつづけたときは、最初の1回はパワーセーブ解除の操作となり送信状態になりません。

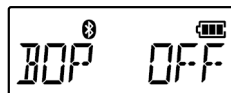
送信するには、VS-3の[PTT]の押しなおしが必要です。

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

4 各種機能の設定

■ 設定項目について

Bluetooth ワンタッチPTT (初期設定：OFF)



OFF設定時



ON設定時

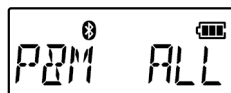
VS-3の[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

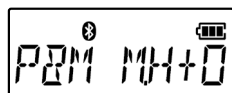
※「ON」に設定したときは、VS-3の[PTT]を押しつづける必要がなくなります。

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

Bluetooth PTT&マイク切り替え (初期設定値：ALL)



ALL設定時



M.H+O設定時

Bluetooth接続時、無線機や別売品の外部機器のPTT操作とマイクを制限するときに設定します。

- H+O：Bluetoothヘッドセットや別売品のPTT操作とマイクだけを有効にする
※別売品を接続しない場合、BluetoothヘッドセットのPTT操作とマイクだけが有効になります。

- ALL：Bluetoothヘッドセットや別売品のPTT操作とマイクを有効にする
※別売品を接続しない場合、無線機のPTT操作とマイクが有効になります。

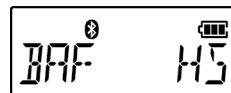
- M.H+O：無線機、Bluetoothヘッドセット、別売品のPTT操作を有効にし、マイクはBluetoothヘッドセットと別売品のマイクだけを有効にする

※別売品を接続しない場合、無線機のPTT操作が有効になります。

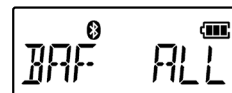
※別売品によっては、別売品のPTT操作でなく、無線機のPTT操作が有効になることがあります。

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

Bluetooth AF出力切り替え (初期設定値：HS)



HS設定時



ALL設定時

Bluetooth接続時、無線機、別売品の外部機器のスピーカーを制限するときに設定します。

- HS：Bluetooth機器のイヤホンだけを使用する
- ALL：Bluetoothヘッドセットのイヤホンや別売品のスピーカーを使用する

※別売品を接続しない場合、無線機のスピーカーが有効になります。

※別売品によっては、別売品のスピーカーからでなく、無線機のスピーカーから音声が出ることがあります。

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

Bluetooth マイクレベルオフセット (初期設定値：8)



8設定時



15設定時

Bluetoothマイクロホンの感度を設定します。

- 設定範囲：1～15

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

Bluetooth AFLレベルオフセット (初期設定値：8)



8設定時



15設定時

Bluetooth機器の音量を設定します。

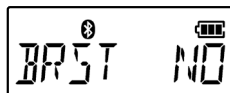
- 設定範囲：1～15

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

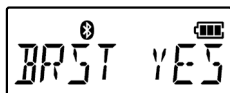
4 各種機能の設定

■ 設定項目について

Bluetooth 初期化 (初期設定：NO)



NO設定時



YES設定時

Bluetoothの全設定を初期化します。

- NO : 初期化しない
- YES : [PTT]を押すと、初期化する

※初期化したあとは、「Bluetooth」が「OFF」になります。

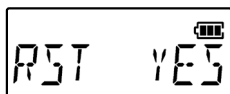
※「YES」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。

※「Bluetooth」を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

全設定初期化 (初期設定：NO)



NO設定時



YES設定時

すべての設定を工場出荷時の状態に戻す(リセットする)ときの操作です。

- NO : 初期化しない
- YES : [PTT]を押すと、初期化する

※「YES」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。

※ペアリングしたBluetooth機器の情報も削除されます。

本製品を便利にお使いいただくため、下記の別売品をご用意しています。

【別売品についてのご注意】

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

弊社ホームページ<https://www.icom.co.jp/>でも、別売品についてご覧いただけます。別売品については、防塵/防水構造になっていませんので、ご注意ください。

- ★1 本製品に付属のものと同じです。
- ★2 IP67の防塵/防水性能があります。
- ★3 IP54の防塵/防水性能があります。
- ★4 使用するには、本製品の設定モードから外部電源制御の設定が必要です。(P.4-11)

上記、防塵/防水性能は、「IP表記」をご覧ください。(P.iv)

※別売品を組み合わせ使用したときは、防塵/防水性能の低いものに制限されます。

充 電 す る

BC-213★ ¹	: 急速充電器
BC-266	: 急速充電器(最大6台まで連結可能)
BC-123S(ストレート型)★ ¹	: ACアダプター
BC-123S(L型)	: ACアダプター(BC-213/BC-266 単体使用時の電源)
BC-228	: ACアダプター(BC-266連結時の電 源)

バ ッ テ リ ー 関 係

BP-280★ ¹ ★ ²	: Li-ionバッテリーパック (Min : 2280mAh、Typ : 2400mAh)
BP-312★ ³	: アルカリ乾電池ケース (単3形アルカリ乾電池×5本) ※5-6ページと併せてご覧ください。

外 部 電 源

AD-149H	: 外部電源供給器
CP-12L	: シガレットライターケーブル (AD-149H用)
OPC-254L	: 電源ケーブル (AD-149H用)

ア ン テ ナ 関 係

FA-S05U★ ²	: ショートアンテナ(約5cm)
FA-S06U★ ¹ ★ ²	: ミドルアンテナ(約10cm)
FA-S07U★ ²	: ロングアンテナ(約22cm)

マイクロホン関係

HM-158LA	: スピーカーマイクロホン
HM-166LA	: イヤホンマイクロホン
HM-168LWP★ ²	: 防水形スピーカーマイクロホン
HM-238LWP★ ² ★ ⁴	: サブチャンネルPTT機能対応 (近日発売予定) タイピン型マイクロホン ※5-4ページと併せてご覧ください。

そ の 他

MB-133★ ¹	: ベルトクリップ
VS-3	: Bluetoothヘッドセット

5 別売品について

■ バッテリーパック使用時の運用時間と充電時間

名 称 定 格 項 目		BP-280		
電池の種類		リチウムイオン		
電池の容量		2280mAh min. /2400mAh typ.		
出 力 電 圧		7.2V		
寸 法 (幅×高さ×奥行)		52.2×104.5×17.5		
		【条件】 突起物は含まず/【単位】mm		
運用 時間	パワーセーブ		ON	OFF
	送信 出力	1W	約25時間	約19時間
		5W	約16.5時間	約13.5時間
	【条件】 送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用 Bluetooth:OFF、バックライト:OFF			
充電 時間	(充電器名)	BC-213	約4時間	
		BC-266	約3時間45分	

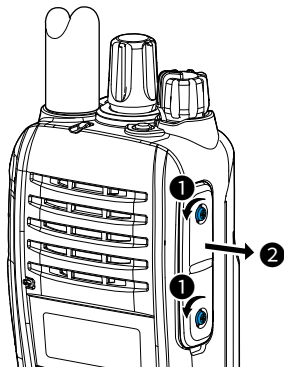
※ Bluetooth 機能を ON にして使用する場合は、運用時間が短くなります。

5 別売品について

■ 保護カバーの取り付けと取りはずし

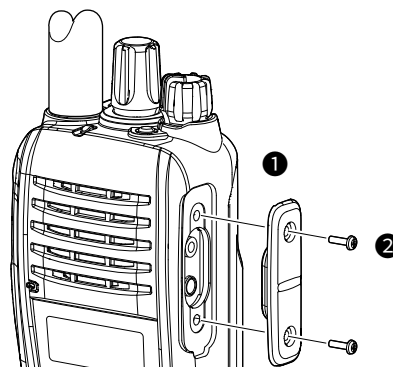
◇取りはずしかた

1. ネジをはずして、保護カバーを取りはずす



◇取り付けかた

1. [MIC/SP]ジャックに保護カバーを取り付け、ネジを締める



ご注意

- ◎防塵/防水性能を維持するため、別売品を接続しないときは保護カバーを正しく閉じてください。
- ◎本製品のネジ以外は使用しないでください。

■ HM-168LWP

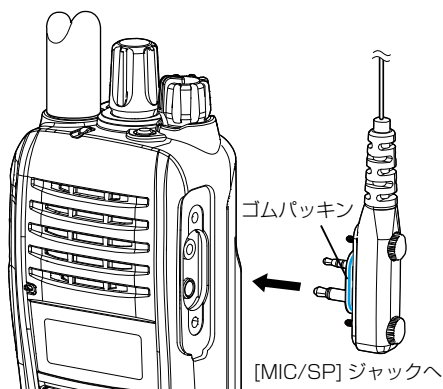
HM-168LWPは、IP67の防塵/防水性能があります。

◇接続のしかた

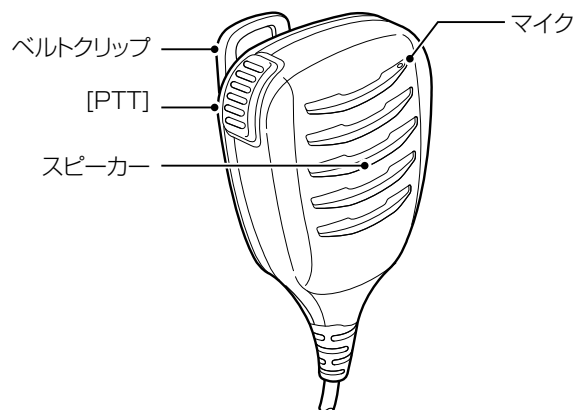
プラグを本製品の[MIC/SP]ジャックに取り付け、指でネジを締めます。

※防塵/防水構造のため、ネジが簡単に回らなくなっていますが、工具の使用はお控えください。

ゴムパッキンが隠れるくらいまでプラグ部分をしっかりと押し込んでから、ネジで締めてください。



◇各部の名称



マイクと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。
マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

ご注意

- ◎プラグを抜き差しするときは、必ず本製品の電源を切ってください。

- ◎プラグを水に浸さないでください。
プラグがぬれたときは、本製品に取り付ける前に必ず乾燥させてください。

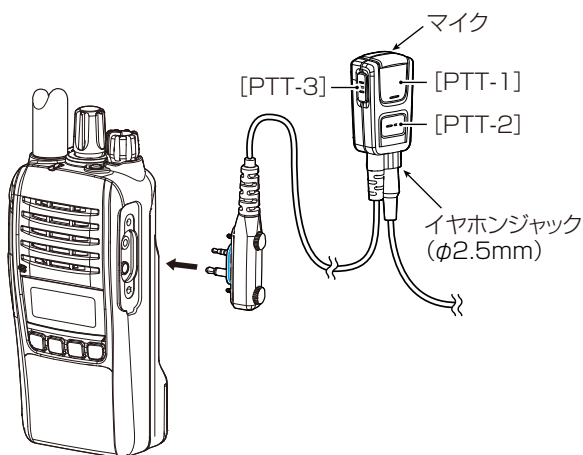
5 別売品について

■ HM-238LWP(サブチャンネルPTT機能対応タイピン型マイクロホン)

EH-15、SP-26、SP-28のいずれかでお使いになれます。
(2024年3月現在、近日発売予定)

接続について

HM-238LWPは、IP67の防塵/防水性能があります。
接続については、同じ防水性能である「HM-168LWP
について」の「接続のしかた」をご覧ください。
(P.5-3)



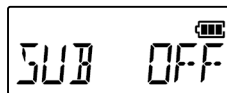
ご注意

- ◎HM-238LWPを接続するときは、必ず無線機の設定モードから、「外部電源初期値」を「AT」(初期設定値)、または「5V」に設定してください。(P.4-11)
※「GND」に設定されているときは、正しく動作しません。
- ◎HM-238LWPを無線機に装着すると、無線機本体のスピーカーから音が出なくなります。
必ずHM-238LWPにイヤホン(EH-15/SP-26/SP-28)を接続して、使用してください。

サブチャンネルPTT機能の設定によって、[PTT-1]、[PTT-2]、[PTT-3]を押したときの動作が異なります。
※サブチャンネルPTT機能については3-4ページ～3-8ページをご覧ください。

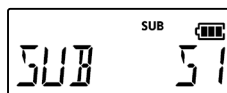
◇サブチャンネルPTTの設定値とその動作

【サブチャンネルPTT：「OFF」の場合】



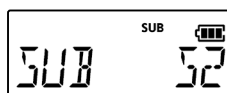
- [PTT-1]/[PTT-2]/[PTT-3]
:無線機に表示されている通話チャンネルで送信する

【サブチャンネルPTT：「S1」の場合】



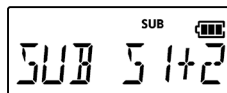
- [PTT-1] :無線機に表示されている通話チャンネルで送信する
- [PTT-2] :サブチャンネル1で送信する
- [PTT-3] :送信しない
※エラービープ(プッ)が鳴ります。

【サブチャンネルPTT：「S2」の場合】



- [PTT-1] :無線機に表示されている通話チャンネルで送信する
- [PTT-2] :送信しない
※エラービープ(プッ)が鳴ります。
- [PTT-3] :サブチャンネル1で送信する

【サブチャンネルPTT：「S1+2」の場合】



- [PTT-1] :無線機に表示されている通話チャンネルで送信する
- [PTT-2] :サブチャンネル1で送信する
- [PTT-3] :サブチャンネル2で送信する

5 別売品について

■ BC-266

◇充電のしかた

バッテリーパックを単体、または無線機に装着した状態で充電できます。

※1台で使用する場合は付属のACアダプターBC-123Sで充電できます。連結して使用する場合はACアダプターBC-228が必要です。

△ 危険

弊社指定(BP-280)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

◎充電中、充電ランプは橙色に点灯します。

充電が完了すると緑色に点灯します。

※充電エラー時は、充電ランプが橙色と緑色に交互点灯します。

右図の接続を確認し、充電しなおしてください。

◎充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。

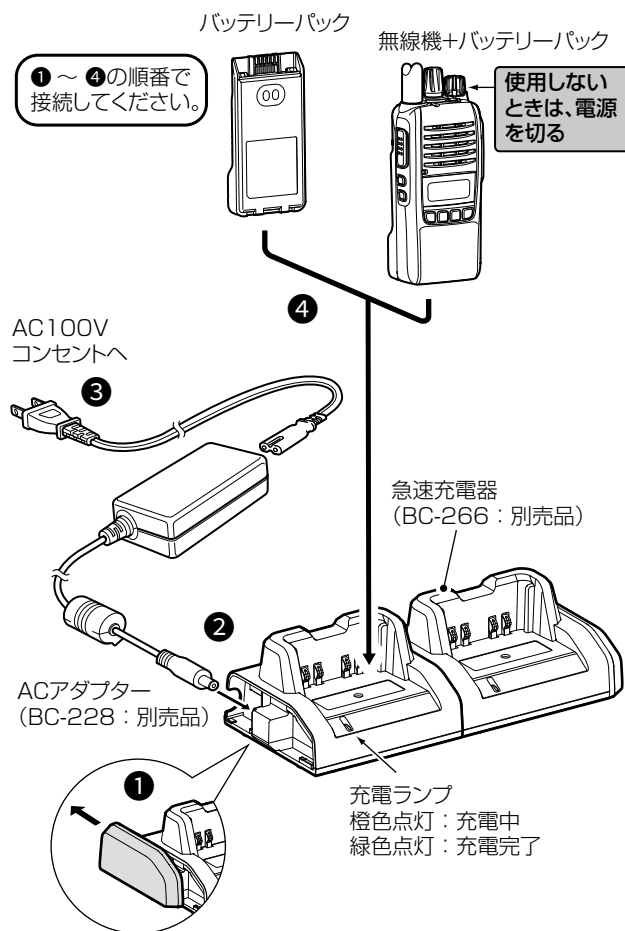
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。

※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。

◎充電時間

約3時間45分

※ご使用方法によって、充電時間や使用できる時間が異なります。



◇連結充電について

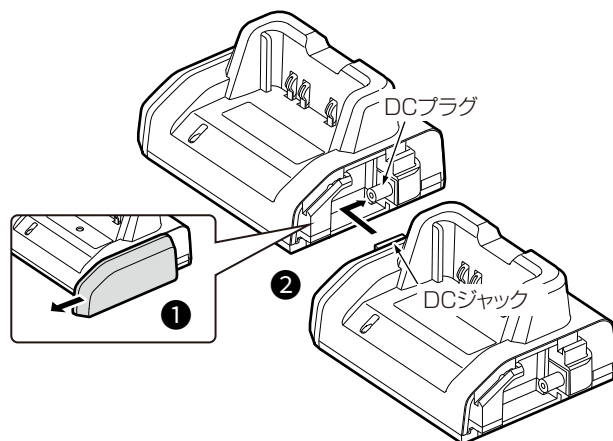
充電器を最大6台まで連結して、同時に充電できます。

【連結のしかた】

1. 充電器右側面のカバーを取りはずします。(①)
2. 右側面にあるDCプラグと、もう1台の充電器(左側面)にあるDCジャックを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(②)

△ 警告

BC-266を7台以上連結して充電しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

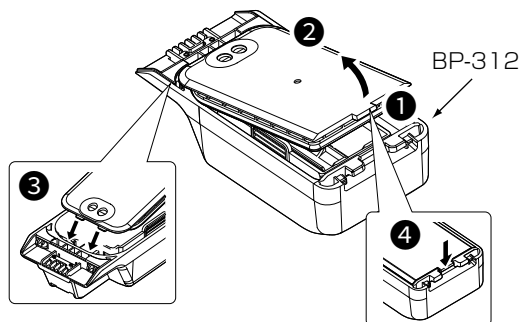


5 別売品について

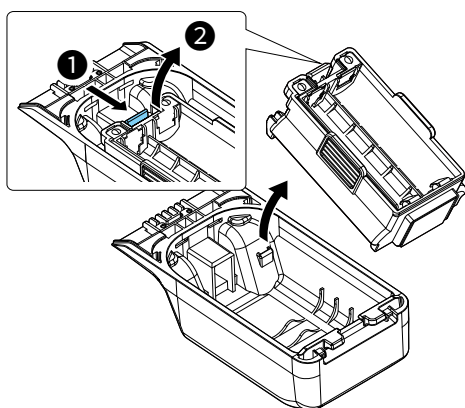
■ BP-312(アルカリ乾電池ケース)

◇アルカリ乾電池の入れかた

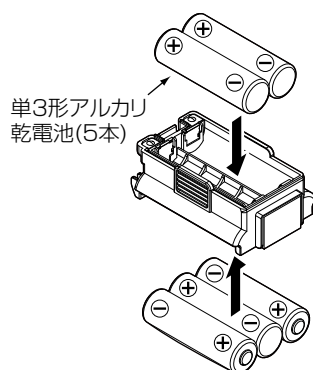
1. 乾電池ケースのフタを開けるときは、指を①の部分に掛けて、②の方向に引き上げます。
フタを閉じるときは、③→④の順番で閉じてください。
そのとき、ケース外部に防水用パッキンがはみ出さないように注意してください。



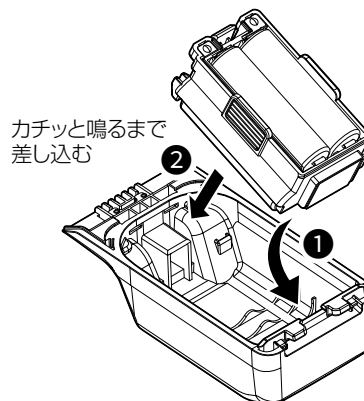
2. ①の部分を指で押しながら、②の方向に引き上げて取り出します。



3. 単3形アルカリ乾電池を5本入れます。
※+(プラス側)と-(マイナス側)を間違えないように入れてください。



4. ①の方向から先に入れ、「カチッ」と鳴るまで②の方向へ差し込みます。



◇アルカリ乾電池ケースを正しくご使用いただくために

△ 危険

アルカリ乾電池ケース(BP-312)は、単3形アルカリ乾電池専用です。
マンガン乾電池や単3形の充電式電池は使用しないでください。
破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

△ 注意

アルカリ乾電池ケースを使用しないときは、アルカリ乾電池ケースからアルカリ乾電池を取りはずして保管してください。

- ◎アルカリ電池ケースの電圧が本製品の動作範囲以下になると電源が切れます。
- ◎アルカリ電池ケースの電池端子部にゴミやホコリが付着すると正常に使用できないことがありますので、乾いたやわらかい布などで、電池端子部を定期的にふいてください。
- ◎アルカリ乾電池に記載されている注意事項も併せてお読みいただき、正しくご使用ください。
- ◎運用時間の目安は、下の表をご覧ください。
※使用条件やアルカリ乾電池の種類(製造元など)により、運用時間が大きく異なることがあります。
また、アルカリ乾電池の特性により、低温では運用時間が短くなります。

運用時間	パワーセーブ		ON	OFF
	送信出力	1W	約 6 時間	約 4 時間
		5W	約 38 分	約 35 分
【条件】送信5、受信5、待ち受け受信90の割合で繰り返し運用 Bluetooth : OFF、バックライト : OFF				

5 別売品について

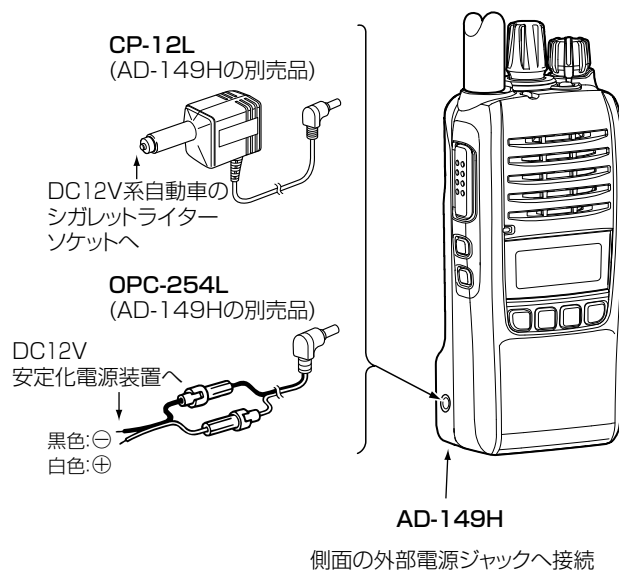
■ 外部電源の接続

無線機の電源を切り、バッテリーパックを取りはずしてから、別売品の外部電源供給器(AD-149H)を取り付けてください。

※外部電源は図のように取り付けてください。

◇外部電源接続についてのご注意

- ◎DC16Vを超える外部電源を接続しないでください。
AD-149Hの外部電源ジャック(DC IN)に入力できる電圧は、DC10V～16Vです。
- ◎外部電源をAD-149Hの外部電源ジャック(DC IN)に接続するときは、AD-149Hの別売品として設定されているCP-12L、OPC-254Lをご使用ください。
- ◎CP-12L(ノイズフィルター付き)は、DC12V系のバッテリー車のシガレットライターソケットから電源を供給できます。
なお、DC24V系のバッテリー車でご使用の場合は、DC24Vを12Vに変換する装置(DC-DCコンバーター)が必要です。
お買い上げの販売店にご相談ください。
- ◎OPC-254Lは、市販の安定化電源装置に接続します。
- ◎外部電源接続時、長時間、ハイパワーで連続送信すると、内部の回路を保護するために放熱し、温度が上昇しますので、やけどの原因になることがあります。
特に、放熱が阻害されるような取り扱いをしないでください。
十分に放熱されないと、発熱して、変形や故障、やけどの原因になることがあります。
- ◎OPC-254Lを接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎AD-149Hは防水構造ではありませんので、水などでぬれやすい場所では使用しないでください。



■ 無線機本体

周 波 数 範 囲	351.20000～351.38125MHz 351.38750～351.63125MHz 351.03125～351.10000MHz 351.16875～351.19375MHz(受信のみ) 351.10625～351.16250MHz(受信のみ)
チ ャ ン ネ ル 数	82チャンネル(送受信)+15チャンネル★ ¹ (受信)
電 波 型 式	F1E/F1D/F1F/F1C
変 調 方 式	4値FSK
使 用 温 度 範 囲	－20～＋60℃
電 源 電 圧	DC7.4V±10%
消 費 電 流	2.0A以下(送信時：5W) 1.0A以下(送信時：1W) 600mA以下★ ² (Bluetooth OFFで受信時) 350mA以下★ ³ (Bluetooth OFFで受信時) 640mA以下★ ² (Bluetooth ONで受信時) 390mA以下★ ³ (Bluetooth ONで受信時) 100mA以下 (Bluetooth OFFで待ち受け時) 140mA以下 (Bluetooth ONで待ち受け時)
送 信 出 力	5W/1W(偏差：＋20%、－50%)
低 周 波 出 力	1500mW以上★ ² (8Ω、10%歪時) 400mW以上★ ³ (8Ω、10%歪時)
接 地 方 式	マイナス接地
アンテナインピーダンス	50Ω(不平衡)
受 信 方 式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受 信 感 度	－5dBμV(EMF)以下★ ⁴ 0dBμV(EMF)以下★ ⁵
外 形 寸 法	52.2(W)×111.8(H)×30.3(D)mm(突起物を除く、BP-280装着時)
重 量	約263g(アンテナ、BP-280装着時)

★1 上空用チャンネル(S1～S15)

★2 内部スピーカー使用時

★3 外部スピーカー使用時

★4 BER=1×10^{−2} スタティック時

★5 BER=3×10^{−2} フェージング時

■ BC-213 急速充電器

入 力 電 圧	DC12～16V ※付属品のACアダプター(BC-123S(ストレート型))を使用時
使 用 温 度 範 囲	10～40℃
重 量	約84g(BC-123Sを除く)
寸 法	77.3(W)×46.0(H)×66.1(D)mm

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

6 定格

■ BC-266 急速充電器(別売品)

入 力 電 圧	DC12～15V ※別売品のACアダプター(BC-228)を使用時
使 用 温 度 範 囲	15～40℃
重 量	約120g(BC-228を除く) 約640g(6台連結、BC-228を除く)
寸 法	106.0(W)×51.1(H)×77.8(D)mm(1台) (突起物を除く) 536.0(W)×51.1(H)×77.8(D)mm(6台連結時) (突起物を除く)

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～